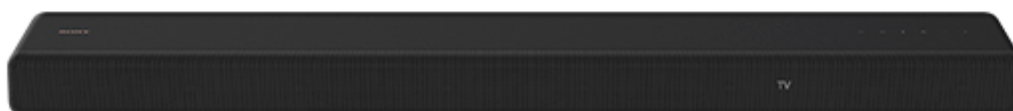


サウンドバー
HT-A3000



本機を使っていて困ったときやわからないことがあったときに使うマニュアルです。

はじめに

[本機のマニュアルについて](#)

[本機でできること](#)

各部の名称とはたらき

├ [バースピーカー](#)

└ [リモコン](#)

[ホームメニューの使いかた](#)

準備する

本機を設置する

├ [バースピーカーを設置する](#)

└ [バースピーカーを壁に取り付ける](#)

テレビとつなぐ

├ [ARC/eARC対応のテレビとつなぐ](#)

[ARC/eARC非対応のテレビとつなぐ](#)

[テレビにS-センタースピーカー入力端子がある場合は](#)

[電源につなぐ](#)

[初期設定をする](#)

別売スピーカーとつなぐ

[別売スピーカーと手動でつなぐ](#)

[ワイヤレス通信が不安定なとき](#)

[テレビのリモコンが効かないときは](#)

映像を見る

[テレビを見る](#)

音楽／音声を聞く

BLUETOOTH®機能でソニー製テレビの音声を聞く

[テレビとBLUETOOTH®機能でつなぐとできること](#)

[本機とテレビをワイヤレスでつないで音声を聞く](#)

[機器登録（ペアリング）したテレビの音声を聞く](#)

BLUETOOTH®機能で音楽／音声を聞く

[モバイル機器を機器登録（ペアリング）して音楽を聞く](#)

[機器登録（ペアリング）済みのモバイル機器の音楽を聞く](#)

[USB機器の音楽を聞く](#)

テレビやつないだ機器の音声をヘッドホンで聞く

[ヘッドホンと機器登録（ペアリング）して聞く](#)

[機器登録（ペアリング）済みのヘッドホンで聞く](#)

[ヘッドホンの接続について](#)

ネットワークにつないで音楽を聞く

[ネットワークにつないでできること](#)

[インターネット接続に関するご注意](#)

無線でネットワークにつなぐ

[ホームメニューで無線接続の設定をする](#)

[Sony | Music Centerを使って無線接続の設定をする](#)

[iOSデバイスを使ってWi-Fiの設定をする](#)

Amazon Musicの音楽を再生する

[準備：Sony | Music CenterでAlexaの初期設定をする](#)

[キャスト方法による再生できる音声の違い](#)

[Amazon Musicアプリで音楽を再生する](#)

[Alexa搭載デバイスに話しかけて本機を操作する](#)

TIDALアプリで音楽を再生する

その他のストリーミングサービスの音楽を再生する

[準備：Chromecast built-inの初期設定をする](#)

[その他のストリーミングサービスアプリで音楽を再生する](#)

Spotifyを使う

AirPlayを使う

Sony | Music Centerを使う

ホームネットワークでパソコンの音楽を聞く

音量や音質を調整する

[音量を調節する](#)

[サラウンド効果を楽しむ（サウンドフィールド）](#)

[セリフを聞きやすくする（ボイス）](#)

[深夜の小音量時でも明瞭感のあるサウンドで楽しむ（ナイトモード）](#)

[音声と映像のずれを調節する](#)

[2か国語放送の音声を切り換える（音声切換）](#)

[DTS:X再生中にセリフの音量を調節する](#)

テレビと連携して使う

[テレビと本機を連携して操作する（HDMI機器制御機能）](#)

[“ブラビアリンク”対応テレビと本機を連携して操作する](#)

設定を変更する

[表示窓とランプの明るさを調整する（本体表示）](#)

[スタンバイ時の待機電力を抑える](#)

[かんたん設定を行う](#)

詳細設定をする

- [\[詳細設定\] メニューの使いかた](#)
- [\[スピーカー設定\]](#)
- [\[音声設定\]](#)
- [\[HDMI設定\]](#)
- [\[Bluetooth設定\]](#)
- [\[本体設定\]](#)
- [\[通信設定\]](#)
- [\[設定初期化\]](#)
- [\[ソフトウェアアップデート\]](#)

ソフトウェアをアップデートする

困ったときは

故障かな?と思ったら

電源

- [電源が入らない](#)
- [テレビの電源を入れても、本機の電源が入らない](#)
- [テレビの電源を切ると、本機の電源が切れる](#)
- [テレビの電源を切っても、本機の電源が切れない](#)
- [本機の電源が切れない](#)

映像

- [映像が出ない、正しく出力されない](#)
- [テレビの映像が乱れる](#)

音声

- [本機とテレビがBLUETOOTH機能でつながらない](#)
- [本機からテレビの音が出ない](#)
- [本機とテレビの両方から音が出る](#)
- [本機から出るテレビの音声が映像より遅れる](#)
- [本機につないだ機器の音が出ない、または音が小さい](#)
- [サラウンド効果が得られない](#)
- [別売のリアスピーカー/サブウーファーから音が出ない](#)

[音が出ないスピーカーがある](#)

音場最適化

[音場最適化が失敗する](#)

USB機器の接続

[USB機器が認識されない](#)

モバイル機器のBLUETOOTH接続

[機器登録（ペアリング）できない](#)

[BLUETOOTH接続ができない](#)

[つないだBLUETOOTH機器の音の本機から出ない](#)

ヘッドホンのBLUETOOTH接続

[機器登録（ペアリング）できない](#)

[BLUETOOTH接続ができない](#)

[つないだBLUETOOTH対応ヘッドホンから音が出ない](#)

[ヘッドホンとのBLUETOOTH接続が切断される](#)

無線LANのネットワーク接続

[本機をネットワークに接続できない、またはネットワーク接続が不安定になる](#)

[無線LANルーターがワイヤレスネットワークのリストに表示されない](#)

インターネット接続

[インターネットにつながらない](#)

リモコン

[本機のリモコンが機能しない](#)

[テレビのリモコンが機能しない](#)

別売スピーカー

[別売スピーカーから音が出ない、または音が小さい](#)

[音が途切れる、ノイズが出る](#)

その他

[HDMI機器制御機能が正しく働かない](#)

[表示窓に5秒間【PRTCT（プロテクト）】と点滅表示され、本機の電源が切れる](#)

[表示窓に【PRTCT（プロテクト）】、【PUSH】、スピーカーの名前（【SUB】、【RL】または【RR】）、【POWER】が順番に点滅表示される](#)

- [表示窓に \[HIGH\]、\[TEMP\]、\[ERROR\] が順に2秒ずつ点滅表示し、\[STANDBY\] が表示され、本機の電源が切れる](#)
- [表示窓に \[BT TX\] と表示される](#)
- [テレビの各種センサーが正常に動作しない](#)
- [無線機能 \(BLUETOOTH機能、無線LAN、別売のサブウーファー/リアスピーカー\) が不安定](#)
- [急に知らない音楽が再生された](#)
- [電源を切ることができない、または \[詳細設定\] が使えない/バースピーカーの電源ボタンを押すと表示窓に \[DEMO\] と表示され電源を切ることができない](#)
- [MUSIC SERVICEボタンを押してもSpotifyの再生ができない、または途中でできなくなった](#)
- [本機が再起動する](#)

[初期化する](#)

その他

[再生できる音声ファイルの種類](#)

[入力できる音声フォーマット](#)

[BLUETOOTH®無線技術について](#)

[商標とライセンスについて](#)

サウンドバー
HT-A3000

本機のマニュアルについて

本機のマニュアルで説明している内容は次のとおりです。

スタートガイド



本機を使い始めるまでに必要な設置、接続と、音楽を再生するまでの操作を説明しています。

取扱説明書



本機の基本的な使いかたを説明しています。

- テレビとの接続のしかた
- HDMIケーブルやBLUETOOTH機能でつないだ機器の音楽／音声の再生のしかた
- 音質調節のしかた

など

ヘルプガイド (Web取扱説明書) (本書)



本機の応用的な使いかたも含めて、すべての使いかたを説明しています。

- ネットワーク機能を使った音楽／音声の再生のしかた
- メニューの詳細の説明

など

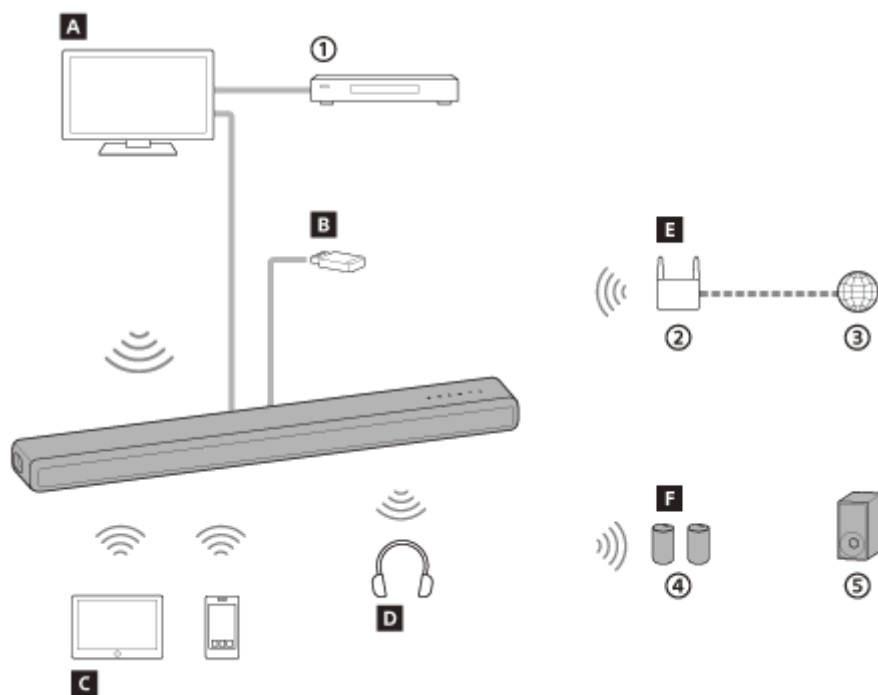
ヒント

- 本書では主にリモコンによる操作を説明しています。
リモコンのボタン名とバースピーカーのボタン名が同じ名称の場合は、バースピーカーのボタンで同じ操作ができます。
- [--] カッコの中にかかれている文字はテレビ画面もしくは表示窓に表示されます。
- 本書のイラストは細かい部分を省いて描いていることがあります。

サウンドバー
HT-A3000

本機でできること

本機はDolby Atmos、DTS:Xなどのオブジェクトオーディオフォーマットに対応しています。



- ① ブルーレイディスク™レコーダー、ケーブルテレビ（CATV）ボックス、またはゲーム機など
- ② 無線LANルーター
- ③ インターネット
- ④ リアスピーカー
- ⑤ サブウーファー

A テレビ

本機とテレビをHDMIケーブルやBLUETOOTH機能でつなぐと、本機でテレビの音声を再生することができます。

[テレビを見る](#)

[テレビとBLUETOOTH®機能でつなぐとできること](#)

B USB機器

本機の USB（USB）端子にUSB機器を差し込むと、本機でUSB機器の音楽ファイルを再生することができます。

[USB機器の音楽を聞く](#)

C モバイル機器

本機とモバイル機器をBLUETOOTH機能でつなぐと、本機でモバイル機器の音楽を再生することができます。

[モバイル機器を機器登録（ペアリング）して音楽を聞く](#)

D ヘッドホン

本機とヘッドホンをBLUETOOTH機能でつなぐと、本機にHDMIケーブルでつないだテレビの音声をヘッドホンで聞くことができます。

[ヘッドホンと機器登録（ペアリング）して聞く](#)

E ネットワーク

本機をスマートフォンやタブレット、iOSデバイスと同じネットワークにつなぐと、本機で音楽をストリーミング再生したり、本機でパソコンに保存した音楽を再生したりできます。

F 別売スピーカー

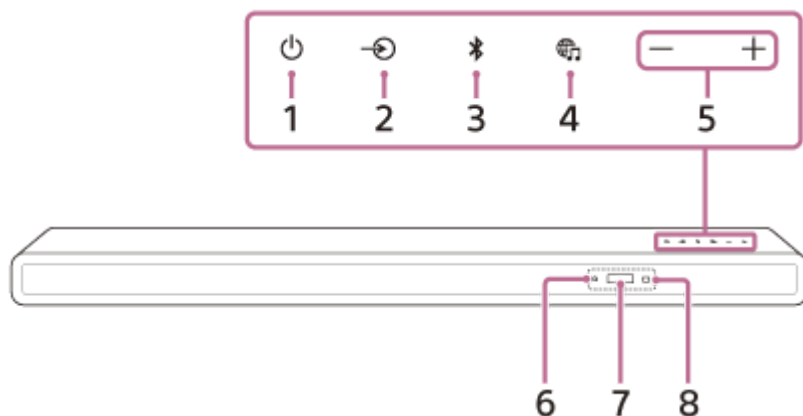
別売のリアスピーカー／サブウーファーの操作については、別売のリアスピーカー／サブウーファーに付属の取扱説明書をご覧ください。

本機に対応している別売のスピーカーは、ソニーのホームページでご確認ください。

サウンドバー
HT-A3000

バースピーカー

正面



1. 電源 (電源) ボタン

本機の電源を入れます。本機の電源が入っているときに押すと、本機がスタンバイ状態になります。

2. 入力切替 (入力切替) ボタン

本機で再生する入力を選びます。

3. Bluetooth (BLUETOOTH) ボタン

4. ミュージックサービス (ミュージックサービス) ボタン

本機でSpotifyの音楽を一度再生したことがあると、その続きを再生することができます。

5. + / - (音量) ボタン

6. BLUETOOTHランプ

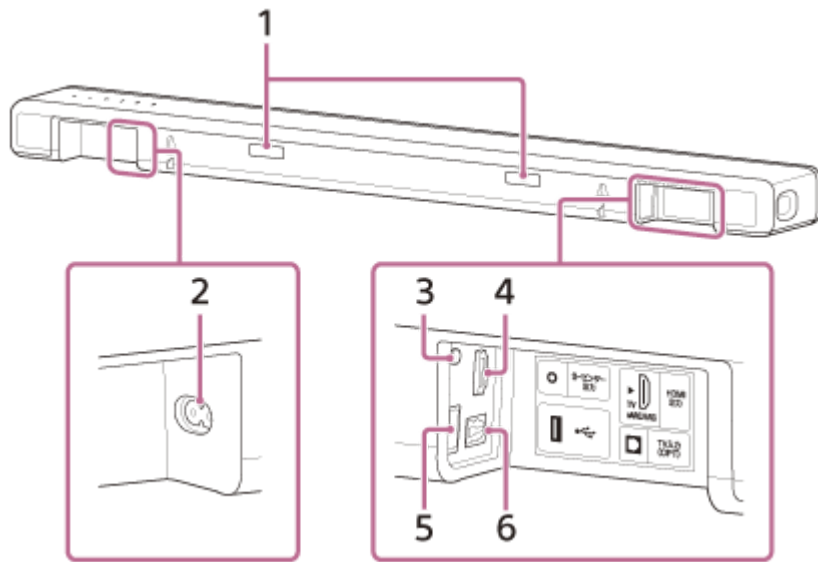
- 青色で速く点滅：BLUETOOTH機器登録（ペアリング）待ち状態です。
- 青色で点滅：BLUETOOTH接続待ち状態です。
- 青色で点灯：BLUETOOTH機器とBLUETOOTH接続されています。

7. 表示窓

8. リモコン受光部

リモコンをバースピーカーの受光部に向けて操作してください。

背面



1. IRリピーター

バースピーカーが受けたテレビのリモコン信号をテレビに転送します。

2. AC入力端子

3. S-センター出力端子

4. HDMI出力（TV eARC/ARC）端子

HDMI入力端子のあるテレビをHDMIケーブルでつなぎます。本機はeARCおよびARCに対応しています。ARCとはHDMIケーブルを通して、テレビの音声をテレビのHDMI端子から本機などのAV機器に送る機能です。eARCはこのARCを拡張したもので、ARCでは伝送できなかったオブジェクトオーディオやマルチチャンネルLPCMの伝送が可能になります。

5. Ψ （USB）端子（AV周辺機器用）

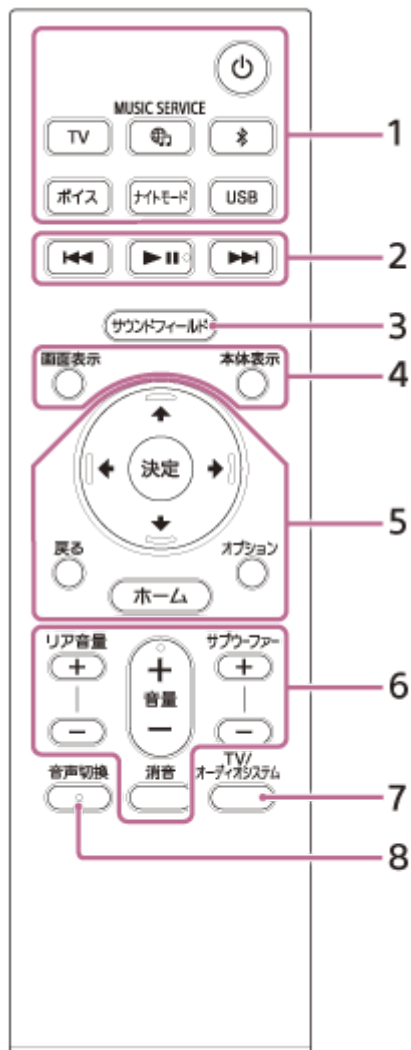
6. TV入力（OPT）（テレビ入力（光デジタル））端子

関連項目

- [テレビにS-センタースピーカー入力端子がある場合は](#)

サウンドバー
HT-A3000

リモコン



1. 電源 (電源) ボタン

本機の電源を入れます。本機の電源が入っているときに押すと、本機がスタンバイ状態になります。

TVボタン

🎵 (MUSIC SERVICE) ボタン

本機でSpotifyの音楽を一度再生したことがあると、その続きを再生することができます。

📶 (BLUETOOTH) ボタン

ボイスボタン

ナイトモードボタン

USBボタン

2. 再生操作ボタン

⏮ (前へ) / ⏭ (次へ) ボタン

前または次のトラック/ファイルを選びます。

再生中に押したままにすると早戻し/早送りできます。

▶ || (再生/一時停止) ボタン (*)

再生を開始します。再生中に押すと一時停止し、一時停止中に押すと再生を再開します。

3. サウンドフィールドボタン

4. 画面表示ボタン

表示窓に再生情報を表示します。

本体表示ボタン

5. ↑（上）／ ↓（下）／ ←（左）／ →（右）ボタン

決定ボタン

戻るボタン

オプションボタン

表示窓にオプションメニューを表示します。

ホームボタン

6. リア音量 + / - ボタン

リアスピーカー（別売）をつないでいるときに、リアスピーカーの音量を調節します。

音量 + (*) / - ボタン

音量を調節します。

サブウーファー + / - ボタン

内蔵サブウーファー（または別売のサブウーファー）の音量を調節します。

消音ボタン

音を一時的に消します。

7. TV/オーディオシステムボタン

つないでいるテレビの音声の出力先を本機、またはテレビで切り換えます。

ご注意

- このボタンは次の条件のときに働きます。
 - 本機をつないでいるテレビがシステムオーディオコントロール機能に対応している。
 - 本機のHDMI機器制御機能をオンしている。

8. 音声切換ボタン (*)

* 音声切換ボタン、▶||（再生/一時停止）ボタン、音量 + ボタンには、凸点（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。

電池交換について

リモコンを操作しても本機が反応しないときは、電池を2つとも新しいものに取り換えてください。
単4形マンガン乾電池をお使いください。

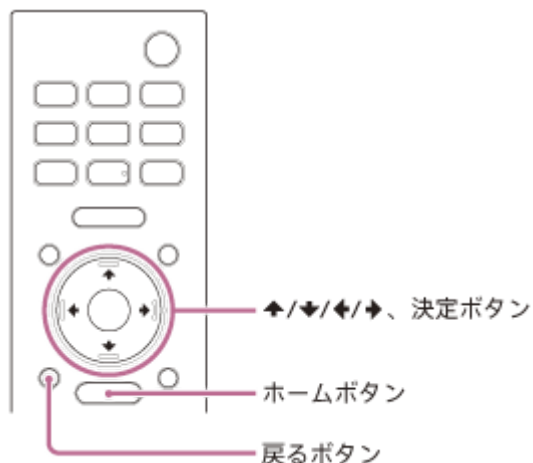
関連項目

- セリフを聞きやすくする（ボイス）
- 深夜の小音量時でも明瞭感のあるサウンドで楽しむ（ナイトモード）
- サラウンド効果を楽しむ（サウンドフィールド）

サウンドバー
HT-A3000

ホームメニューの使いかた

本機とテレビをHDMIケーブルでつないで、本機のホームメニューをテレビ画面に表示することができます。





1 ホームボタンを押す。

テレビ画面にホームメニューが表示されます。

2 ↑（上）／←（左）／→（右）ボタンを押してカテゴリーを選び、↓（下）ボタンまたは決定ボタンを押す。

カテゴリーの下に、選んだカテゴリーの項目が表示されます。

-  **【映像をみる&音楽をきく】**：テレビや本機につないだオーディオ機器やミュージックサービスの入力を選びます。
-  **【設定する】**：【かんたん設定】で基本的な初期設定をしたり、本機のいろいろな詳細設定をすることができます。

3 ↑（上）／↓（下）／←（左）／→（右）ボタンを押してカテゴリーの項目を選び、決定ボタンを押す。

選んだ入力または設定画面に表示が切り換わります。
前の画面に戻るには、戻るボタンを押します。

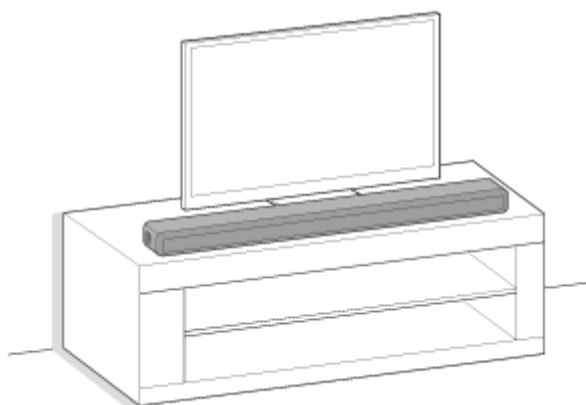
サウンドバー
HT-A3000

バースピーカーを設置する

バースピーカーは、テレビと同じ場所に設置してください。テレビ台などの棚の上に置く、または壁に取り付けることができます。

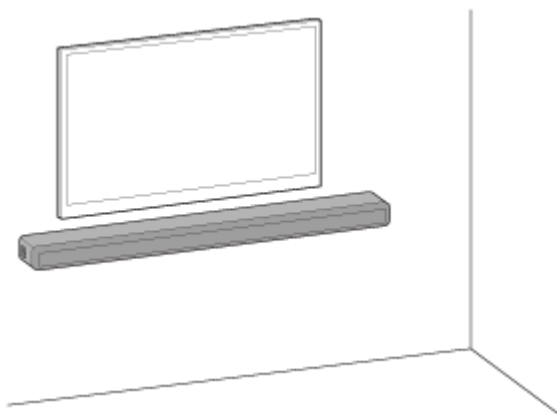
棚などの上に置く

テレビの前の空いているスペースに置いてください。



壁に取り付ける

テレビの下の壁に取り付けてください。

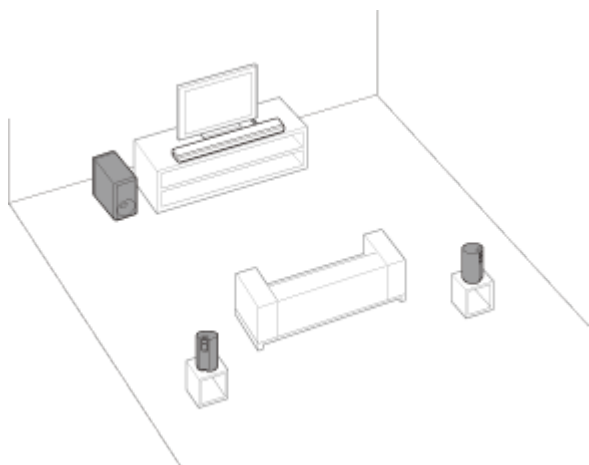


別売のスピーカーと一緒に使用するには

最初にスタートガイドに従って本機の初期設定を完了させてください。そのあとに、別売のスピーカーに付属の取扱説明書をご覧になり、別売のスピーカーを本機に接続してください。

別売のスピーカーとの接続ができない場合は本機の初期化を行うと接続できる場合があります。詳しくは、「[初期化する](#)」をご覧ください。

別売のスピーカーからの音が途切れる場合は、設置位置や設定を変更すると改善することがあります。詳しくは、「[別売のリアスピーカー/サブウーファーから音が出ない](#)」をご覧ください。

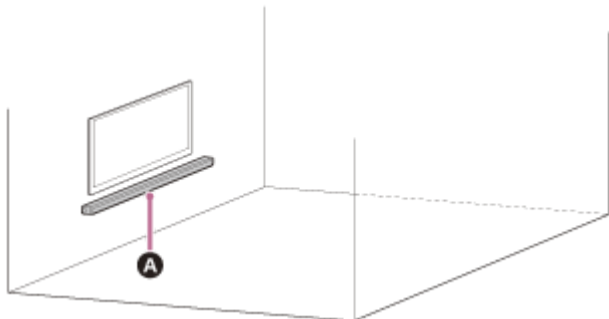


ご注意

- 本機と接続する前に、テレビの電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードは、本機とテレビをつないだ後にコンセントに接続してください。
- 本機の周りに金属物を置かないでください。無線機能に影響が出る場合があります。
- バースピーカー背面には通気孔があります。通気孔をふさがないでください。

サウンドバー
HT-A3000

バースピーカーを壁に取り付ける

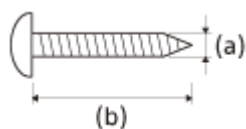


A バースピーカー

ご注意

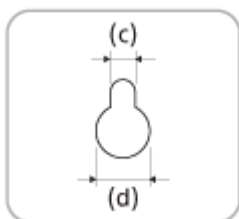
- 壁の材質や強度に合わせた市販のネジをご用意ください。壁の材質によっては破損するおそれがあります。
- ネジは柱部分にしっかりと固定してください。
- バースピーカーは補強された壁に水平に取り付けてください。
- 販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。
- 取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷につきましては、ソニーは一切責任を負いません。
- 安全のために、取り付けは必ず2人以上で行ってください。

1 バースピーカー背面の穴に合う市販のネジを2本用意する。



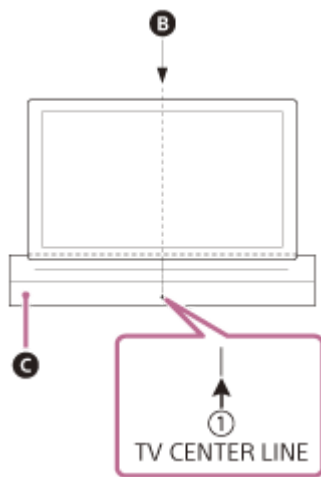
- (a) 4 mm
(b) 30 mm以上

バースピーカー背面の穴



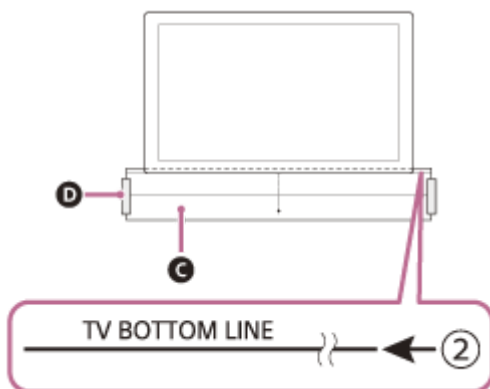
- (c) 5 mm
(d) 10 mm

2 テレビの幅の中心に、壁掛けテンプレート（付属）に印字されている「↑① TVセンターライン」の縦線を合わせる。



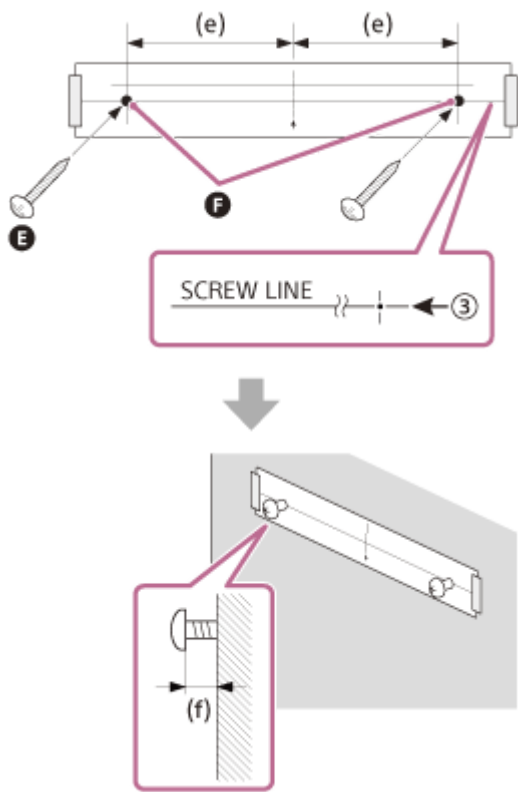
- B テレビの中心
- C 壁掛けテンプレート

3 壁掛けテンプレートに印字されている「 ←② TV下端ライン」をテレビの下端に合わせ、壁掛けテンプレートを市販のセロハンテープなどで貼る。



- C 壁掛けテンプレート
- D セロハンテープなど

4 壁掛けテンプレートに印字されている「 ←③ ネジ取付けライン」の印の位置に、手順1で用意したネジを留める。

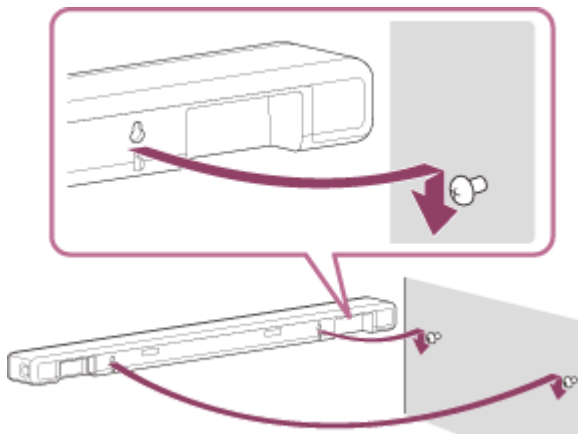


- E ネジ
- F 印
- (e) 270 mm
- (f) 10 mmから11 mm

5 壁掛けテンプレートを取りはずす。

6 バースピーカー背面の穴をネジにかける。

バースピーカー背面の穴とネジの位置を合わせてから、2か所同時に取り付けてください。



ご注意

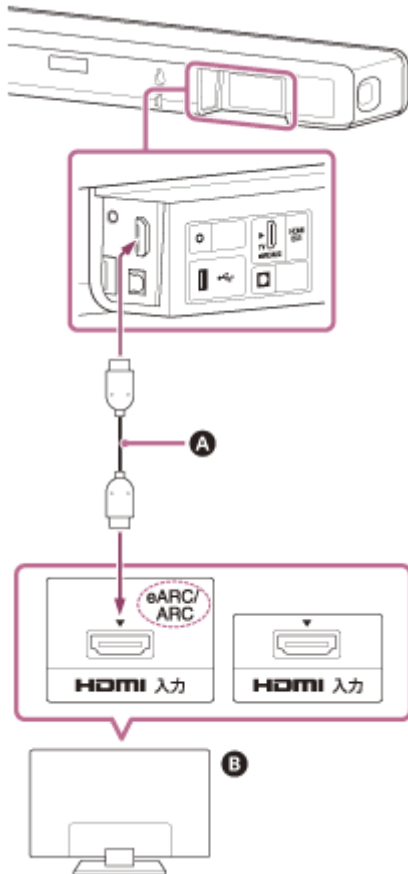
- 壁掛けテンプレートはしっかり伸ばして貼ってください。
- テレビとバースピーカーの距離を70 mm以上離して設置してください。



サウンドバー
HT-A3000

ARC/eARC対応のテレビとつなぐ

- 1 テレビのARC/eARC対応HDMI入力端子と本機のHDMI出力（TV eARC/ARC）端子をHDMIケーブル（付属）でつなぐ。



- A HDMIケーブル（付属）
- B テレビ

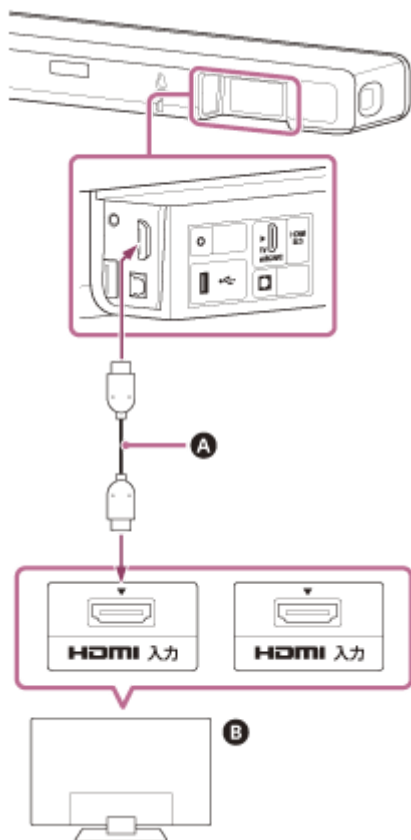
ご注意

- コネクタは奥までしっかり差してください。
- テレビのHDMI機器制御機能を有効に設定してください。テレビのHDMI機器制御機能を有効にしないと、本機からテレビの音声が出力されません。

サウンドバー
HT-A3000

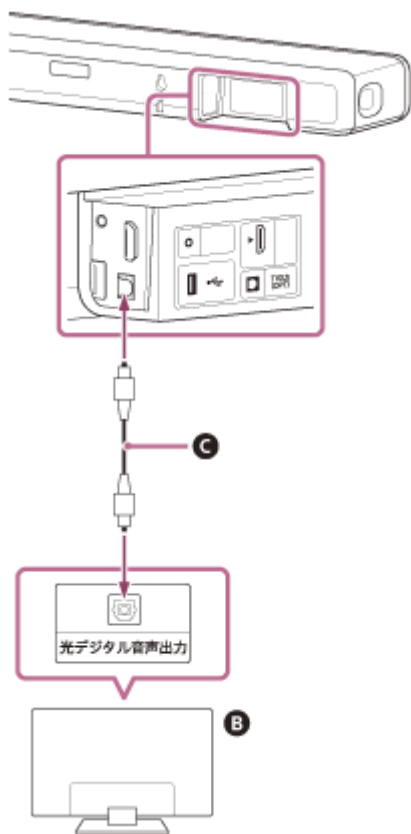
ARC/eARC非対応のテレビとつなぐ

- ① テレビのHDMI入力端子と本機のHDMI出力（TV eARC/ARC）端子をHDMIケーブル（付属）でつなぐ。



- Ⓐ HDMIケーブル（付属）
Ⓑ テレビ

- ② テレビの光デジタル音声出力端子と本機のTV入力（OPT）端子を光デジタル音声ケーブル（別売）でつなぐ。



- B** テレビ
- C** 光デジタル音声ケーブル（別売）

ご注意

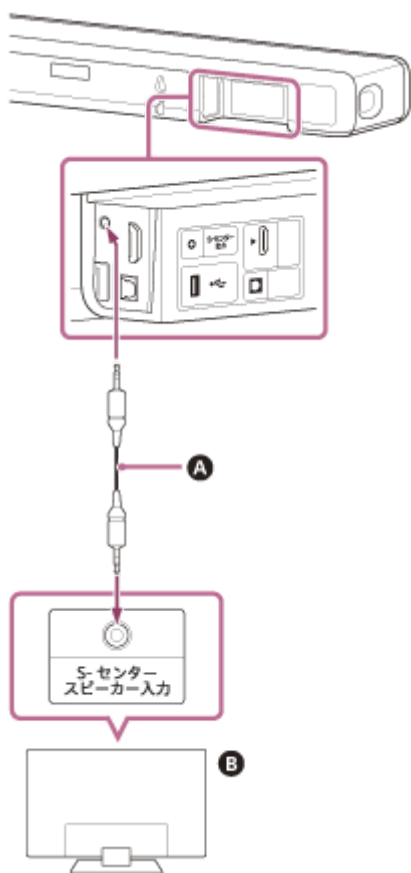
- コネクターは奥までしっかり差ししてください。
- 光デジタル音声ケーブルのプラグと、テレビと本機の端子の形状を確認し、プラグを正しい向きで差し込んでください。間違った向きで無理に差し込むと、端子やプラグが破損することがあります。

サウンドバー
HT-A3000

テレビにS-センタースピーカー入力端子がある場合は

次の方法でテレビとつなぐと、本機のセンター成分の音声をテレビから出力できます。

- 1 本機とテレビをHDMIケーブル (付属) でつなぐ。
- 2 テレビのS-センタースピーカー入力端子と、本機のS-センター出力端子をテレビセンタースピーカーモードケーブル (付属) でつなぐ。



- A** テレビセンタースピーカーモードケーブル (付属)
B テレビ

ご注意

- コネクタは奥までしっかり差してください。

ヒント

- テレビセンタースピーカーモードケーブルの長さが足りないときは、市販の3極ステレオミニプラグオーディオケーブルをお使いください。

関連項目

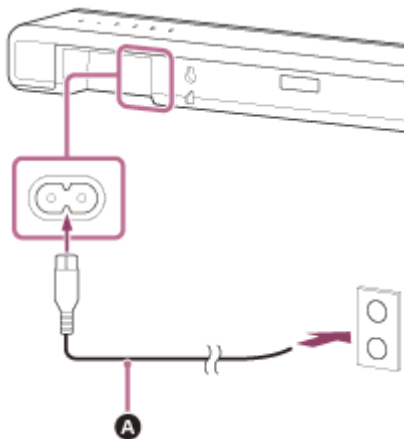
- [ARC/eARC対応のテレビとつなぐ](#)
- [ARC/eARC非対応のテレビとつなぐ](#)

5-034-491-01(2) Copyright 2022 Sony Corporation

サウンドバー
HT-A3000

電源につなぐ

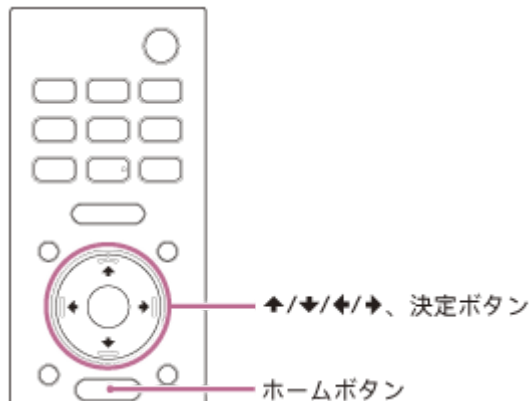
- 1 バースピーカーのAC入力端子に電源コード（付属）をつなぎ、コンセントに差し込む。



A 電源コード（付属）

サウンドバー
HT-A3000

初期設定をする



- 1 本機のリモコンのホームボタンを押して本機の電源を入れる。

リモコンはバースピーカー正面に向けて操作してください。

- 2 表示窓の【PLEASE WAIT】が消え、次の表示に変わるまで待つ。



- 3 テレビの電源を入れる。

- 4 画面の指示に従って初期設定をする。

初期設定画面が表示されない場合は、テレビのリモコンでテレビの入力を本機をつないだHDMI入力に切り換え、本機のリモコンのホームボタンを押してください。



A 初期設定画面

- ↑ (上) / ↓ (下) / ← (左) / → (右)、決定ボタンを押して画面表示されている項目を選びます。

- 別売のサブウーファー／リアスピーカーをお使いの場合は、[ワイヤレススピーカー接続確認] 画面の指示に従って本機につながります。
- [設定が完了しました。] が表示されたら、[機能紹介に進む] を選びます。

ご注意


- テレビと本機の電源を入れる順番によっては本機が消音状態になり、本機の表示窓に [MUTING] と表示される場合があります。その場合は、すべての機器の電源を切り、テレビの電源を入れたあとに本機の電源を入れてください。

サウンドバー
HT-A3000


別売スピーカーと手動でつなぐ

別売スピーカーに電源が入ると、自動的に本機との接続が確立されます。詳しくは、別売スピーカーの取扱説明書をご覧ください。

別売スピーカーとの接続が自動で確立されないときは、次の手順で手動接続を行ってください。

- 1 ホームボタンを押す。**
テレビ画面にホームメニューが表示されます。
- 2 ホームメニューで  [設定する] → [詳細設定] を選ぶ。**
- 3 [スピーカー設定] → [ワイヤレススピーカー設定] → [手動リンク開始] を選ぶ。**
テレビ画面に [手動リンク開始] 画面が表示されます。
- 4 別売スピーカーのLINKボタンを押す。**
LINKボタンが押された別売スピーカーの電源ランプが緑色に2回ずつ点滅します。
- 5 [開始] を選ぶ。**
手動接続の設定を開始します。
接続状況がテレビ画面に表示されます。
手動接続を止めるには、[中止] を選びます。
- 6 本機につなぎたい別売スピーカーに [接続済み] が表示されたら、[完了] を選ぶ。**
- 7 決定ボタンを押す。**
手動接続が完了し、別売スピーカーの電源ランプが緑色に点灯します。


ご注意

- [手動リンク開始] を行うと、 [設定する] → [詳細設定] → [スピーカー設定] → [ワイヤレススピーカー設定] → [リンクモード] は自動的に [手動] に設定されます。
- 手順6で [接続済み] と表示された別売スピーカーが本機と接続されています。別売スピーカーの接続ができなかった場合は、手順1からやり直してください。

サウンドバー
HT-A3000

ワイヤレス通信が不安定なとき

無線LANなど複数のワイヤレス機器をお使いの場合、本機のワイヤレス通信が不安定になることがあります。この場合、以下の設定を変更することで改善することがあります。

- 1 ホームボタンを押す。
テレビ画面にホームメニューが表示されます。
- 2 ホームメニューで  [設定する] → [詳細設定] を選ぶ。
- 3 [スピーカー設定] → [ワイヤレススピーカー設定] → [ワイヤレス周波数設定] を選ぶ。
- 4 お好みの設定を選ぶ。
 - [入] : 通常はこの設定にします。自動的にワイヤレス通信に最適な周波数を選びます。ワイヤレス混線に強いモードです。
 - [切] : ワイヤレス混線を避けるために、周波数帯を固定します。[入] を選んで音切れする場合は [切] を選ぶと改善することがあります。

ご注意


- [ワイヤレス周波数設定] を [切] から [入] に切り換えた場合、再接続に1分ほどかかることがあります。

サウンドバー
HT-A3000

テレビのリモコンが効かないときは

バースピーカーがテレビのリモコン受光部を隠してしまい、テレビのリモコンでテレビを操作できなくなる場合があります。このようなときは本機のIRリピーター機能を有効にしてください。

バースピーカーが受けたテレビのリモコン信号がテレビに転送され、リモコン操作が可能になります。

- 1 ホームボタンを押す。**
テレビ画面にホームメニューが表示されます。
- 2 ホームメニューで  [設定する] → [詳細設定] を選ぶ。**
- 3 [本体設定] → [IRリピーター] を選ぶ。**
[IRリピーター] 画面がテレビ画面に表示されます。
- 4 [入] を選ぶ。**

ご注意

- テレビのリモコンでテレビを操作できないことを確認してから、[IRリピーター] を [入] にしてください。操作できるときに [入] にすると、テレビのリモコンからの直接の信号とバースピーカーで中継した信号が干渉しあい、正しく動作しないことがあります。
- [IRリピーター] を [入] にした場合、テレビによっては本機能が動作しなかったり、エアコンなど他の機器のリモコンが正しく動作しなくなったりすることがあります。その場合は本機やテレビの設置位置を変えてみてください。

サウンドバー
HT-A3000

テレビを見る

1 ホームボタンを押す。

テレビ画面にホームメニューが表示されます。

2 ホームメニューで [映像をみる&音楽をきく] → [TV] を選ぶ。

3 テレビのリモコンでテレビ番組を選ぶ。

テレビ画面に選んだ番組が表示され、テレビの音声の本機から出力されます。

4 音量を調節する。

ご注意

- バースピーカーによってテレビのリモコン受光部が隠れてしまい、テレビのリモコンによる操作ができないときは、本機のIRリピーター機能を有効にしてください。

ヒント

- リモコンのTVボタンを押して、テレビ入力を選ぶこともできます。

関連項目

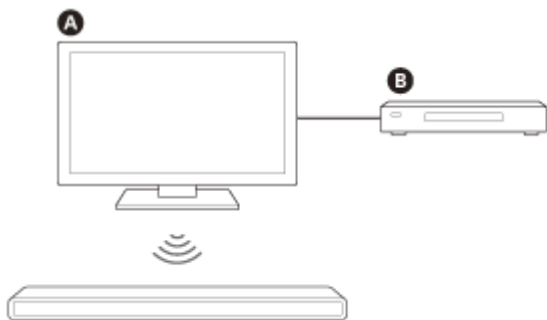
- [テレビのリモコンが効かないときは](#)

サウンドバー
HT-A3000

テレビとBLUETOOTH®機能でつなぐとできること

ソニー製のBLUETOOTH機能搭載テレビ(*)をお使いの場合、テレビと本機をBLUETOOTH機能でつないで、テレビやテレビにつないだ機器の音声をワイヤレスで聞くことができます。

* A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) に対応している必要があります。



A ソニー製のテレビ

B ブルーレイディスクレコーダー、ケーブルテレビ (CATV) ボックス、またはゲーム機など

ご注意

- テレビと本機をBLUETOOTH機能でつなぐと、ホームメニューなどの操作画面をテレビ画面に表示することができないため、テレビやテレビにつないだ機器の音声を聞く以外の機能はお使いになれません。本機のすべての機能をお使いになりたい場合は、本機とテレビをHDMIケーブル (付属) でつないでください。

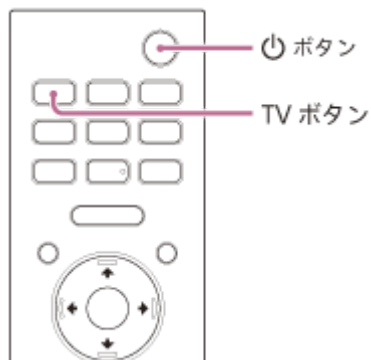
関連項目

- [ARC/eARC対応のテレビとつなぐ](#)
- [ARC/eARC非対応のテレビとつなぐ](#)

サウンドバー
HT-A3000

本機とテレビをワイヤレスでつないで音声を聞く

BLUETOOTH®機能を使ってテレビと本機を機器登録（ペアリング）する必要があります。
ペアリングとは、BLUETOOTH機器同士を互いにあらかじめ登録することです。



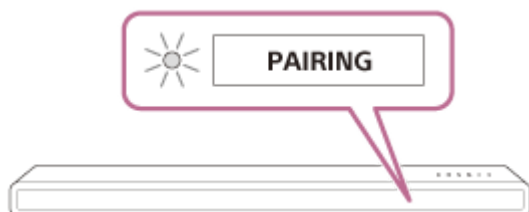
- 1 テレビの電源を入れる。
- 2 電源（電源）ボタンを押して本機の電源を入れる。
- 3 バースピーカーの Bluetooth（BLUETOOTH）ボタンとリモコンのTVボタンを同時に5秒間長押しする。

本機がペアリングモードになります。
表示窓に [TV-BT ON]、[PAIRING] が順に表示されます。



A Bluetooth（BLUETOOTH）ボタン

- 4 バースピーカーのBLUETOOTHランプが青色に速く点滅し、表示窓に [PAIRING] が表示されていることを確認する。



- 5 テレビでペアリング操作をして、本機を検索する。

検出したBLUETOOTH機器の一覧がテレビ画面に表示されます。
テレビにBLUETOOTH機器をペアリングする操作方法は、テレビの取扱説明書をご覧ください。

- 6 テレビの画面に表示された機器の一覧から「HT-A3000」を選び、互いの機器を登録する。
- 7 バースピーカーのBLUETOOTHランプが青色に点灯し、表示窓に「TV-BT」が表示されていることを確認する。
本機とテレビとの接続が完了しました。
- 8 テレビのリモコンでお好みの番組、またはテレビにつないだ機器の入力を選ぶ。
テレビに表示されている画面の音声の本機から出力されます。
- 9 テレビのリモコンで本機の音量を調節する。
テレビのリモコンの消音ボタンを押すと、本機の音を一時的に消すことができます。

ご注意

- 本機からテレビの音声が出ないときは、TVボタンを押してバースピーカーの表示窓とランプの状態を確認してください。
 - 表示窓に「TV-BT」が表示されているとき：本機とテレビの接続が完了し、テレビの音声の本機から出力されます。
 - BLUETOOTHランプが速く点滅し、表示窓に「PAIRING」が表示されているとき：テレビ側でペアリングを行ってください。
 - 表示窓に「TV」が表示されているとき：ペアリングの手順を最初からやり直してください。
- 本機とテレビをHDMIケーブルでつなぐと、BLUETOOTH接続が解除されます。本機とテレビをBLUETOOTH機能でつなぎなおすには、HDMIケーブルを抜いてからペアリングの手順を最初からやり直してください。

サウンドバー
HT-A3000

機器登録（ペアリング）したテレビの音声を聞く

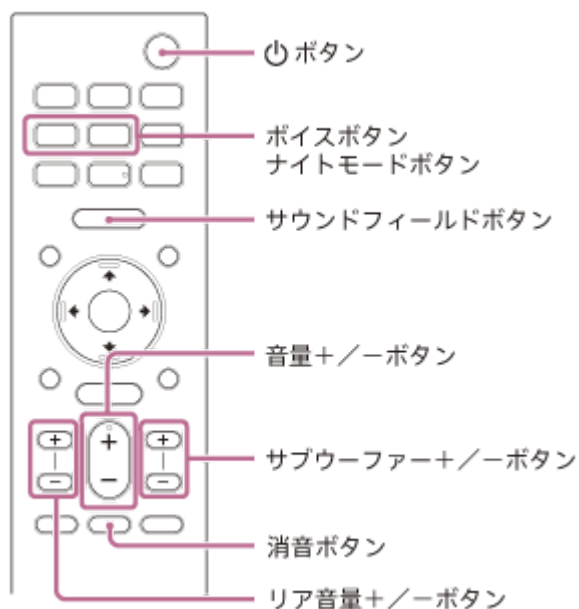
- 1 テレビのリモコンでテレビの電源を入れる。
テレビの電源に連動して本機の電源が入り、本機からテレビの音声が出力されます。
- 2 テレビのリモコンでお好みの番組、またはテレビにつないだ機器の入力を選ぶ。
テレビに表示されている画面の音声が本機から出力されます。
- 3 テレビのリモコンで本機の音量を調節する。
テレビのリモコンの消音ボタンを押すと、本機の音を一時的に消すことができます。

ヒント

- テレビの電源を切ると、連動して本機の電源も切れます。

本機のリモコンで操作できること

以下のボタンを使うことができます。



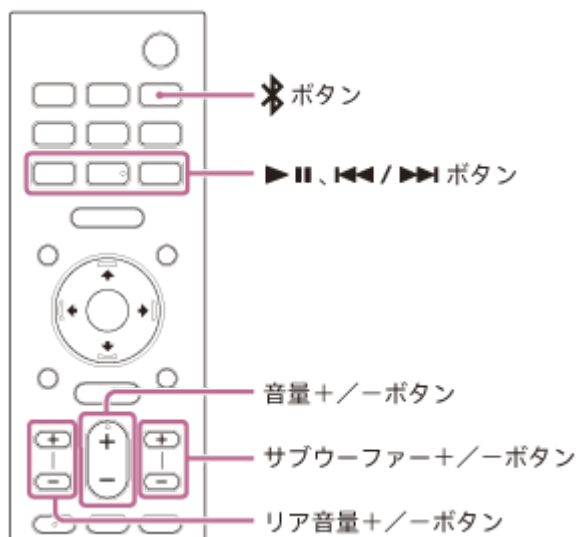
ご注意

- 本機のリモコンでテレビ以外の入力を選ぶと、テレビの音声が本機から出なくなります。テレビの音声を本機で聞くには、リモコンのTVボタンを押してテレビ入力を選んでください。
- テレビと本機をBLUETOOTH機能でつないでいるときは、以下のリモコンのボタンが効きません。
 ▲ (上) / ▼ (下) / ◀ (左) / ▶ (右) ボタン、決定ボタン、戻るボタン、ホームボタン、画面表示ボタン、オプションボタン、▶|| (再生/一時停止) ボタン、◀◀ (前へ) / ▶▶ (次へ) ボタン

サウンドバー
HT-A3000

モバイル機器を機器登録（ペアリング）して音楽を聞く

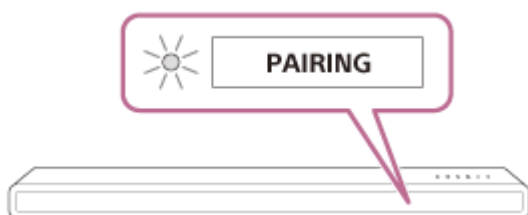
BLUETOOTH®機能を使うには、あらかじめ本機でモバイル機器をペアリングする必要があります。



1 Bluetooth（BLUETOOTH）ボタンを2秒間長押しする。

2 バースピーカーのBLUETOOTHランプが青色に速く点滅し、表示窓に【PAIRING】が表示されていることを確認する。

本機がペアリングモードになります。



3 モバイル機器でペアリング操作をして、本機を検索する。

検出されたBLUETOOTH機器の一覧がモバイル機器の画面に表示されます。

モバイル機器にBLUETOOTH機器をペアリングする操作方法は、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

4 モバイル機器の画面に表示された機器の一覧から「HT-A3000」を選び、互いの機器を登録する。

パスコードを要求された場合は、「0000」を入力します。

5 バースピーカーのBLUETOOTHランプが青色に点灯し、表示窓に【BT】が表示されていることを確認する。

本機とモバイル機器との接続が完了しました。

6 モバイル機器の音楽再生アプリでコンテンツを再生する。

本機から音声が出力されます。

7 音量を調節する。

リモコンの再生操作ボタンを使ってコンテンツの再生や一時停止ができます。

BLUETOOTH機能の接続状態を確認する

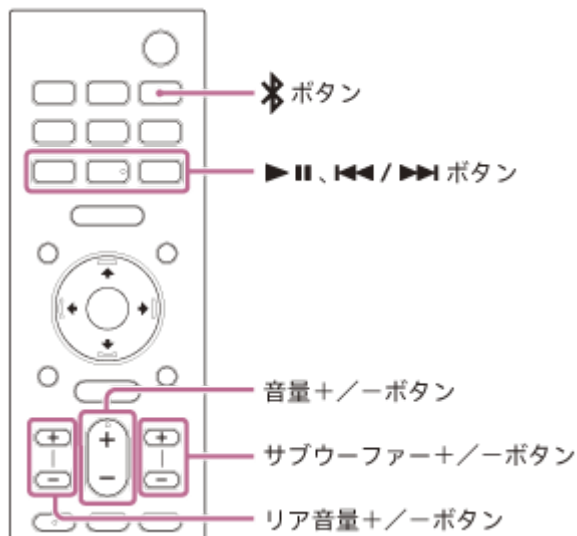
接続の状態	BLUETOOTHランプの状態
ペアリング待ち状態	青色に速く点滅
接続待ち状態	青色に点滅
接続完了	青色に点灯

ヒント

- まだ1台もペアリングをしていない場合（本機ご購入直後など）は、BLUETOOTH入かに切り換えるだけでペアリングモードになります。
- 2台目以降もモバイル機器ごとにペアリングを行ってください。


サウンドバー
HT-A3000

機器登録（ペアリング）済みのモバイル機器の音楽を聞く



- 1 **モバイル機器のBLUETOOTH®機能をオンにする。**
- 2 **✱（BLUETOOTH）ボタンを押す。**
最後につないだBLUETOOTH機器が自動的につながります。
- 3 **バースピーカーのBLUETOOTHランプが青色に点灯し、表示窓に【BT】が表示されていることを確認する。**
本機とモバイル機器との接続が完了しました。
- 4 **モバイル機器の音楽再生アプリでコンテンツを再生する。**
本機から音声が出力されます。
- 5 **音量を調節する。**
リモコンの再生操作ボタンを使ってコンテンツの再生や一時停止ができます。

ご注意



- 音の遅延が気になる場合は、 [設定する] → [詳細設定] → [Bluetooth設定] → [Bluetooth接続品質] を [接続優先] に変更すると改善する場合があります。

ヒント

- 接続が完了しなかった場合、モバイル機器側で、「HT-A3000」を選んでください。

モバイル機器の接続を解除する

次のいずれかを行ってください。

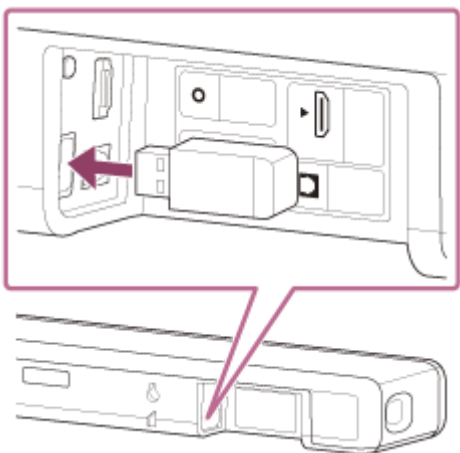
- モバイル機器のBLUETOOTH機能をオフにする。
- テレビ画面に [Bluetooth Audio] 画面が表示されているときに、 (BLUETOOTH) ボタンを押す。
-  [設定する] → [詳細設定] → [Bluetooth設定] → [Bluetoothモード] を [送信] または [切] に設定する。
- 本機またはモバイル機器の電源を切る。


サウンドバー
HT-A3000

USB機器の音楽を聞く

USB機器の音楽ファイルを再生できます。

- 1 **🔌 (USB) 端子にUSB機器を差し込む。**



- 2 **ホームボタンを押す。**
テレビ画面にホームメニューが表示されます。
- 3 **ホームメニューで  [映像をみる&音楽をきく] → [USB (接続済み)] を選ぶ。**
- 4 **曲が保存されているフォルダーを選び、曲を選ぶ。**
音楽が再生され本機から音声が出力されます。
- 5 **音量を調節する。**

ご注意




- 操作中はUSB機器を取りはずさないでください。USB機器を本機につないだり取りはずしたりするときは、データの損失やUSB機器の故障を避けるため、必ず本機の電源を切ってください。







ヒント





- リモコンのUSBボタンを押して、USB入力を選ぶこともできます。

音楽再生画面の使いかた



◀ (左) / ▶ (右) ボタンを押して、画面上の以下のボタンを選び、決定ボタンを押してください。

-  (再生) /  (一時停止)
再生を開始、一時停止します。
リモコンの  (再生/一時停止) ボタンでも操作できます。

-  (前へ) /  (次へ)
前または次の音楽ファイルを再生します。
リモコンの  (前へ) /  (次へ) ボタンでも操作できます。
-  (シャッフル再生)
再生順序をシャッフルします。決定ボタンを押すたびにオン/オフを切り換えます。
-  (リピート再生)
決定ボタンを繰り返し押し続けてリピートモードを切り換えます。

リピートモード	説明
 (全曲リピート)	すべての音楽ファイルを繰り返し再生します。
 (フォルダーリピート)	フォルダー内のすべての音楽ファイルを繰り返し再生します。
 (1曲リピート)	再生中の音楽ファイルを繰り返し再生します。
 (オフ)	リピート再生を解除します。

ヒント

- 再生中にリモコンの  (前へ) /  (次へ) ボタンを押したままにすると、早戻し/早送りできます。

関連項目

- [再生できる音声ファイルの種類](#)

サウンドバー
HT-A3000

ヘッドホンと機器登録（ペアリング）して聞く

1 BLUETOOTH®対応ヘッドホンをペアリングモードにする。

ペアリングについては、ヘッドホンに付属の取扱説明書をご覧ください。

2 ホームボタンを押す。

テレビ画面にホームメニューが表示されます。

3 ホームメニューで 【設定する】 → 【詳細設定】 を選ぶ。

4 【Bluetooth設定】 → 【Bluetoothモード】 → 【送信】 を選ぶ。

本機がBLUETOOTH送信モードになります。

5 【Bluetooth設定】 → 【機器リスト】 からヘッドホンの機器名を選ぶ。

BLUETOOTH接続が完了すると、【接続中】と表示されます。

【機器リスト】にヘッドホンの機器名が見つからない場合は、【検索】を選んでください。

6 ホームメニューに戻り、 【映像をみる&音楽をきく】 を選び、入力を選ぶ。

テレビ画面が選んだ入力に切り換わり、表示窓に【BT TX】と表示され、ヘッドホンから音声が出力されます。
本機から音は出なくなります。

7 音量を調節する。

最初にヘッドホンを適度な音量にし、次にバースピーカーの+/-ボタンやリモコンの音量 +/- ボタンで、ヘッドホンの音量を調節します。

ペアリング済みヘッドホンを機器リストから削除する

1. ホームボタンを押す。

テレビ画面にホームメニューが表示されます。

2. ホームメニューで 【設定する】 → 【詳細設定】 を選ぶ。


3. 【Bluetooth設定】 → 【機器リスト】 を選ぶ。

4. 削除したいヘッドホンの機器名にカーソルを合わせ、画面表示ボタンを押す。

すべてのペアリング済みヘッドホンを削除する場合は、音声切換ボタンを押す。



5. テレビ画面の指示に従ってヘッドホンを機器リストから削除する。

ご注意

- ペアリング済みのヘッドホンを機器リストに表示させるには、 【設定する】 → 【詳細設定】 → 【Bluetooth設定】 → 【Bluetoothモード】 を【送信】に設定してください。



サウンドバー
HT-A3000

機器登録（ペアリング）済みのヘッドホンで聞く

- 1 ヘッドホンのBLUETOOTH®機能をオンにする。
- 2 ホームボタンを押す。
テレビ画面にホームメニューが表示されます。
- 3 ホームメニューで  **【設定する】** → **【詳細設定】** を選ぶ。
- 4 **【Bluetooth設定】** → **【Bluetoothモード】** → **【送信】** を選ぶ。
本機がBLUETOOTH送信モードになり、最後につないだヘッドホンに自動的につながります。
- 5 ホームメニューに戻り、 **【映像をみる&音楽をきく】** を選び、**入力** を選ぶ。
テレビ画面が選んだ入力に切り換わり、表示窓に **【BT TX】** と表示され、ヘッドホンから音声が出力されます。
本機から音は出なくなります。
- 6 **音量を調節する。**
最初にヘッドホンを適度な音量にし、次にバースピーカーの+/-ボタンやリモコンの音量 +/- ボタンで、ヘッドホンの音量を調節します。


ペアリング済みヘッドホンの接続を解除する

次のいずれかを行ってください。

- ヘッドホンのBLUETOOTH機能をオフにする。
-  **【設定する】** → **【詳細設定】** → **【Bluetooth設定】** → **【Bluetoothモード】** を **【受信】** または **【切】** に設定する。
- 本機またはヘッドホンの電源を切る。
-  **【設定する】** → **【詳細設定】** → **【Bluetooth設定】** → **【機器リスト】** で接続中のヘッドホンの機器名を選ぶ。
機器名の **【接続中】** の文字が表示されなくなります。

サウンドバー
HT-A3000

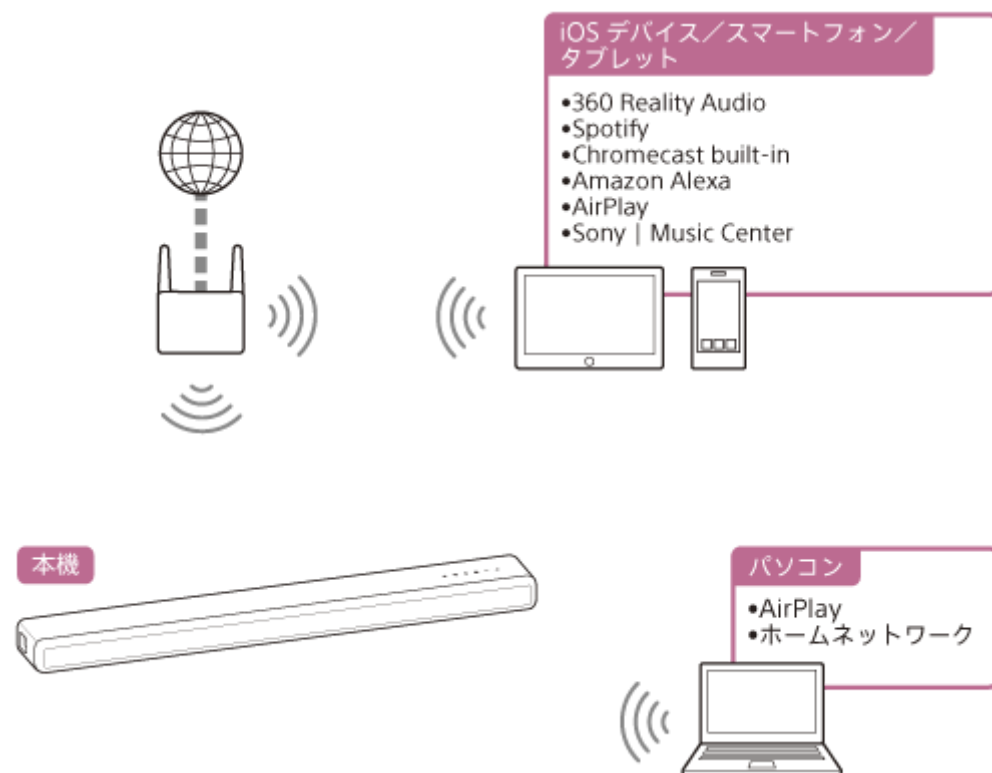
ヘッドホンの接続について

- BLUETOOTH®対応ヘッドホンによっては音量を調節できない場合があります。
-  [設定する] → [詳細設定] → [Bluetooth設定] → [Bluetoothモード] が [切] または [送信] になっているときはBLUETOOTH入力が無効になります。
- BLUETOOTH機器は9台まで登録できます。9台分を登録したあと新たな機器を機器登録（ペアリング）すると、9台の中で接続履歴の最も古い機器の登録情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
- BLUETOOTH機器は [機器リスト] に15台まで表示できます。
- BLUETOOTH対応ヘッドホンに音声を送信している間は、サウンド効果の設定の変更はできません。
- 著作権保護コンテンツとして保護されているコンテンツは出力されないことがあります。
- BLUETOOTH対応ヘッドホンがSCMS-T非対応の場合は、音声を出力できない場合があります。
- BLUETOOTH無線技術の特性により、本機側の再生に比べて受信側での音楽／音声の再生が遅れます。
- 送信される音声に、LDACコーデックを使用するかどうかを [Bluetooth設定] で変更することができます。

サウンドバー
HT-A3000

ネットワークにつないでできること

本機をネットワークに接続すると、スマートフォンやタブレット、iOSデバイスを操作して本機から音楽をストリーミング再生したり、パソコンに保存している音楽を本機で再生したりできます。



- **360 Reality Audio**

360 Reality Audioに対応したストリーミングサービスのアプリから音楽を選び、本機で再生することができます。

- **Spotify**

Spotifyアプリから音楽を選び、本機で再生することができます。

スマホ、タブレット、パソコンをリモコンにして、Spotifyで音楽を楽しめます。詳しくはspotify.com/connectをご覧ください。

- **Chromecast built-in™**

Chromecast対応アプリから音楽コンテンツを選び、本機で再生することができます。

- **Amazon Alexa**

本機をAlexa搭載機器（別売）と組み合わせることで、ストリーミングサービスの音楽再生、曲送り／戻し、音量の調整などの音声操作をすることができます。

- **AirPlay**

本機はAirPlayに対応しています。iOSデバイスやパソコンを操作して本機で音楽を再生することができます。

- **Sony | Music Center**

スマートフォンやタブレットにインストールしたSony | Music Centerを使って、本機をワイヤレスで操作できます。

- **ホームネットワーク**

ホームネットワークを利用して、ネットワーク上のパソコンに保存した音楽を再生することができます。

ご注意

- 本機とパソコンは同一のネットワークにつないでください。
- 本製品につなぐルーター等は電気通信事業法に基づく技術基準に適合しているものをつないでください。

関連項目

- [準備 : Sony | Music CenterでAlexaの初期設定をする](#)
- [TIDALアプリで音楽を再生する](#)
- [準備 : Chromecast built-inの初期設定をする](#)
- [Spotifyを使う](#)
- [AirPlayを使う](#)
- [Sony | Music Centerを使う](#)
- [ホームネットワークでパソコンの音楽を聞く](#)

サウンドバー
HT-A3000

インターネット接続に関するご注意

本機をインターネットに接続する場合は、必ず適切なセキュリティ設定を施したルーター(*)を介して接続してください。

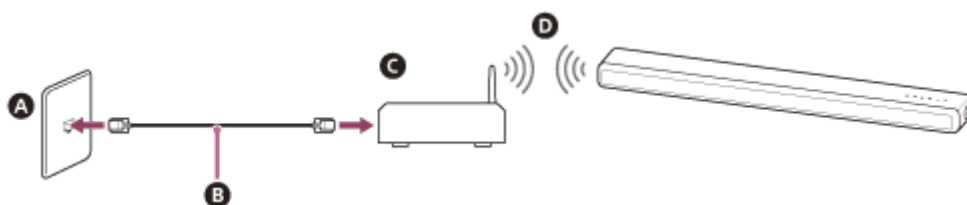
セキュリティの問題が発生すると、製品がインターネットを通じてマルウェア(悪意のあるソフトウェア)等による被害を受け、お客様の情報やコンテンツが抜き取り・改ざんなどのセキュリティの脅威にさらされてしまうことがあります。それだけにとどまらず、知らないうちにお使いの機器が各種ネットワークサービスに損害を与える側にもなってしまいます。

* ルーターとはインターネット回線とローカルネットワーク回線の中継する機器です。

下記のような種類があります。

- 有線方式のルーター
- ルーター機能付きADSLモデム
- ルーター機能付き光回線終端装置(ONU)
- ルーター機能付きWi-Fiアクセスポイント
- 壁についでいるネットワーク回線用のコンセント機器(**)

** 壁についでいるネットワーク回線用のコンセント機器がルーター機能を有するか不明な場合は、集合住宅の管理者やインターネットプロバイダーなどにご確認ください。



- A** 壁のLAN端子
- B** LANケーブル
- C** ルーター
- D** 無線LAN

サウンドバー
HT-A3000

ホームメニューで無線接続の設定をする

次の情報をあらかじめご確認ください。

- ネットワーク名 (SSID) (*)
- セキュリティーキー (パスワード) (**)

* SSID (Service Set Identifier) は具体的なアクセスポイントを確認する名前です。

** この情報は、無線LANルーター/アクセスポイントのラベル、取扱説明書、無線接続を設定した人、またはインターネットサービスプロバイダーから得ることができます。

1 ホームボタンを押す。

テレビ画面にホームメニューが表示されます。

2 ホームメニューで [設定する] → [詳細設定] を選ぶ。

3 [通信設定] を選ぶ。

[Wi-Fi接続] が [入] に設定されていることを確認してください。

4 [ネットワーク設定] → [次へ進む] を選ぶ。

5 [Wi-Fiネットワークを検索] を選ぶ。

テレビ画面にネットワーク名のリストが表示されます。

6 ネットワーク名 (SSID) を選ぶ。

リストに表示されていないネットワークに接続する場合は、[新しい接続先の登録] を選び、画面の指示にしたがって操作してください。

7 ソフトウェアキーボードでセキュリティキー (またはパスワード) を入力し、[Enter] を選ぶ。

ネットワーク接続を開始します。

サウンドバー
HT-A3000

Sony | Music Centerを使って無線接続の設定をする

Sony | Music Centerアプリを使って、お使いのモバイル機器と同一のネットワークに本機をつなぐことができます。詳しくはSony | Music Centerアプリのヘルプまたは下記のURLをご覧ください。


<https://www.sony.net/smcqa/>

サウンドバー
HT-A3000

iOSデバイスを使ってWi-Fiの設定をする

本機はApple Setupに対応しています。

この機能を使うと、ネットワーク名とパスワードを入力せずにiOSデバイスをつないでいる同一のネットワークに本機をWi-Fiでつなぐことができます。

- 1 ホームボタンを押す。**
テレビ画面にホームメニューが表示されます。
- 2 ホームメニューで  [設定する] → [詳細設定] を選ぶ。**
- 3 [通信設定] を選ぶ。**
[Wi-Fi接続] が [入] に設定されていることを確認してください。
- 4 [ネットワーク設定] → [次へ進む] を選ぶ。**
- 5 [Apple Setupを使う] を選ぶ。**
- 6 画面の指示にしたがって、iOSデバイスを操作する。**

サウンドバー
HT-A3000

準備 : Sony | Music CenterでAlexaの初期設定をする

Sony | Music Centerを使って、本機でAmazon Musicの音楽を再生したり、本機をAmazon Alexa搭載デバイスと連携させたりすることができます。

本機をつないでいる同一のネットワークにモバイル機器をWi-Fiでつなぎ、本機をAmazonアカウントに登録して、本機とモバイル機器の準備をしてください。

① 本機をつないでいる同一のネットワークにモバイル機器をWi-Fiでつなぐ。

② モバイル機器に無料アプリSony | Music Centerをインストールする。

③ Sony | Music Centerを起動して、本機を選ぶ。



④ [設定] → [Amazon Alexa] → [初期設定] を選び、画面の指示に従って、本機をAlexaで操作するための設定をする。



ご注意

- Amazon Alexaは、一部の言語および国/地域では使用できない場合があります。
- Sony | Music Centerを使う前に、Wi-Fiネットワークに接続されていることを確認してください。

関連項目

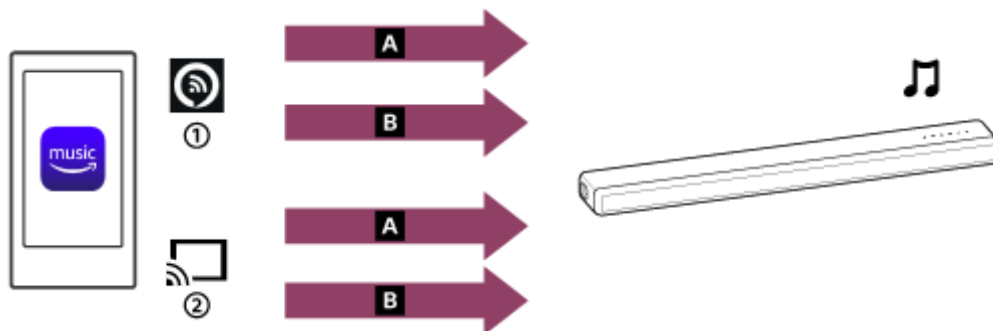
- [Sony | Music Centerを使って無線接続の設定をする](#)

サウンドバー
HT-A3000

キャスト方法による再生できる音声の違い

キャスト方法によって再生できる音声異なります。

Android OS用Amazon Musicアプリの場合



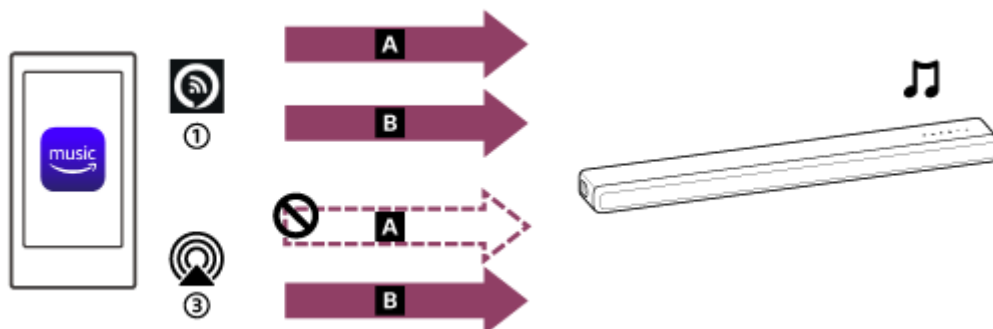
A 360 Reality Audio

B 2チャンネル音声

① Alexa Cast

② キャストアイコン

iOS用Amazon Musicアプリの場合





A 360 Reality Audio

B 2チャンネル音声

① Alexa Cast

③ AirPlay

ヒント

- Alexa Castのアイコン () : 本機はAlexaの初期設定で設定した機器名で表示されます。
- キャストアイコン () : 本機は【HT-A3000】またはGoogle Homeの初期設定で設定した機器名で表示されます。

関連項目

- [Amazon Musicアプリで音楽を再生する](#)

サウンドバー
HT-A3000

Amazon Musicアプリで音楽を再生する

Amazon Musicアプリをインストールしたスマートフォン/iPhoneなどを操作して、Amazon Musicの音楽を再生します。

Amazon Musicで提供されている360 Reality Audio対応の音楽を再生することもできます。

360 Reality Audio対応の音楽を再生するためには、Amazon Music Unlimitedへの加入が必要です。

ご注意

- アプリのダウンロードおよびネットワークサービスのご利用に際して、通信料や別途の登録、料金の支払いが必要となる場合がありますので、ご了承ください。

1 Amazon Musicアプリをお使いのスマートフォン/iPhoneにダウンロード、インストールする。





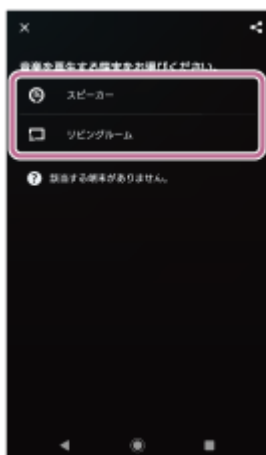
2 Amazon Musicアプリを起動して、再生したい音楽を選ぶ。

[360] アイコンが付いている楽曲が、360 Reality Audioに対応しています。


3 キャストアイコン () をタップする。

4 本機を音楽の再生先として選ぶ。

Alexa Castのアイコン ()、またはキャストアイコン () が付いている本機の名前をタップしてください。



ご注意

- 再生する端末を選ぶときに、AirPlayのアイコン () と一緒に表示されている本機の名前を選んでも、360 Reality Audioの再生はできません。
- Sony | Music Centerで360 Reality Audioを提供しているストリーミングサービスを確認することができます。Sony | Music Centerで本機を選択し、[設定] → [360 Reality Audioについて] → [次へ] を選びます。

- アプリの仕様および画面デザインは予告なく変更する場合があります。

関連項目

- [キャスト方法による再生できる音声の違い](#)

5-034-491-01(2) Copyright 2022 Sony Corporation

サウンドバー
HT-A3000

Alexa搭載デバイスに話しかけて本機を操作する

Alexa搭載デバイスに話しかけて、本機でAlexa対応のストリーミングサービスを再生することができます。

1 Alexa搭載デバイスに話しかけて音楽を再生する。

話しかけかたについて詳しくは、Sony | Music Centerでご確認ください。



ご注意

- 本機はマイクを搭載していないため、ユーザーの応答が必要なAlexaスキルは使用できません。
- 本機だけでは音声操作はできません。Amazon EchoなどAmazon Alexa搭載デバイス（別売）と組み合わせることで、音楽再生・曲送り／戻し・音量の調整などの音声操作をすることができます。
- 本機でAmazon Alexaのすべての機能を使えるわけではありません。

ヒント

- Amazonアカウントから本機の登録を解除するには、Sony | Music Centerを使用してください。Alexaアプリで登録解除の操作を行っても、本機では登録解除されたことを認識できません。
- 再生するコンテンツが対応している場合、ジャケット写真などの画像が再生画面に表示されます。

サウンドバー
HT-A3000

TIDALアプリで音楽を再生する

TIDALアプリをインストールしたスマートフォン/iPhoneなどを操作して、TIDALの音楽を再生します。
TIDALで提供されている360 Reality Audio対応の音楽を再生することもできます。
360 Reality Audio対応の音楽を再生するためには、TIDAL HiFiプランへの加入が必要です。

ご注意

- TIDALは、一部の言語および国/地域では使用できない場合があります。
- アプリのダウンロードおよびネットワークサービスのご利用に際して、通信料や別途の登録、料金の支払いが必要となる場合がありますので、ご了承ください。

1 TIDALアプリをお使いのスマートフォン/iPhoneにダウンロード、インストールする。



2 本機をつないでいる同一のネットワークにモバイル機器をWi-Fiでつなぐ。

3 TIDALアプリを起動して、再生したい音楽を選ぶ。

4 キャストアイコン () をタップする。

5 本機を音楽の再生先として選ぶ。

本機の名前 ([HT-A3000] またはGoogle Homeの初期設定で設定した機器名) をタップしてください。
2チャンネル音声または360 Reality Audio対応のどちらの音楽を選んでも、[360RAcast] と表示されます。

ご注意

- Sony | Music Centerで360 Reality Audioを提供しているストリーミングサービスを確認することができます。Sony | Music Centerで本機を選択し、[設定] → [360 Reality Audioについて] → [次へ] を選びます。
- アプリの仕様および画面デザインは予告なく変更する場合があります。

サウンドバー
HT-A3000

準備 : Chromecast built-inの初期設定をする

本機はモバイル機器から音楽をスピーカーにストリーミングすることができるChromecast built-inに対応していません。

1 ホームボタンを押す。

テレビ画面にホームメニューが表示されます。

2 ホームメニューで [音楽をきく] → [Chromecast built-in] を選ぶ。

画面の指示にしたがって、本機でChromecast built-inを使うための設定を行ってください。設定を行うと、[ネットワーク/Bluetoothスタンバイ] が [入] になり、本機がスタンバイ状態でもすばやく音楽を再生することができます。

Googleアシスタント搭載機器に話しかけて本機で音楽を聞く

本機は、Chromecast built-in対応のGoogleアシスタント搭載機器と組み合わせて使うことができ、声で音楽を操作できます。本機をモバイル機器のGoogle Homeアプリと連携させてください。詳しくはGoogle Homeアプリをご覧ください。

サウンドバー
HT-A3000

その他のストリーミングサービスアプリで音楽を再生する

お好みのストリーミングサービスに対応したアプリをスマートフォン/iPhoneなどにインストールして、2チャンネルや360 Reality Audio対応の音楽を再生することができます。

360 Reality Audio対応の音楽を再生するには、ストリーミングサービスによってはプレミアムプランへの加入が必要な場合があります。

ご注意

- アプリのダウンロードおよびネットワークサービスのご利用に際して、通信料や別途の登録、料金の支払いが必要となる場合がありますので、ご了承ください。

- 1 ストリーミングサービス対応アプリをお使いのスマートフォン/iPhoneにダウンロード、インストールする。
- 2 本機をつないでいる同一のネットワークにモバイル機器をWi-Fiでつなぐ。
- 3 手順1でダウンロードしたアプリを起動して、再生したい音楽を選ぶ。
- 4 キャストアイコンをタップする。
アプリによって、キャストアイコンの形状は異なります。
- 5 本機を音楽の再生先として選ぶ。
本機の名前（[HT-A3000] またはGoogle Homeの初期設定で設定した機器名）をタップしてください。

ご注意

- Sony | Music Centerで360 Reality Audioを提供しているストリーミングサービスを確認することができます。Sony | Music Centerで本機を選択し、[設定] → [360 Reality Audioについて] → [次へ] を選びます。
- アプリの仕様および画面デザインは予告なく変更する場合があります。

サウンドバー
HT-A3000

Spotifyを使う

Spotifyアプリから音楽を選び、本機で再生することができます。

“Spotify Connect”機能を使って本機で音楽を再生する

スマホ、タブレット、パソコンをリモコンにして、Spotifyで音楽を楽しめます。詳しくはspotify.com/connectをご覧ください。

ヒント

- [ネットワーク/Bluetoothスタンバイ] を [入] に設定すると、スタンバイ状態のときもすばやく音楽を再生することができます。
- 再生するコンテンツが対応している場合、ジャケット写真などの画像が再生画面に表示されます。

モバイル機器で再生した音楽のつづきを再生する

1 MUSIC SERVICEボタンを押す。

本機でSpotifyの音楽を一度再生していると、Spotifyで聞いていた音楽のつづきが再生されます。


関連項目

- [\[本体設定\]](#)

サウンドバー
HT-A3000

AirPlayを使う

本機はAirPlay 2に対応しています。iPhone、iPad、iPod touchなどのiOSデバイスで音楽コンテンツを選び、本機にストリーミングできます。

- 1 本機をつないでいる同一のネットワークにiOSデバイスをWi-Fiでつなぐ。
- 2 iOSデバイスでストリーミングしたい音楽を再生する。
- 3 iOSデバイスでAirPlayのアイコン () を表示してタップする。
- 4 iOSデバイスでストリーミング先のスピーカーとして本機を選ぶ。
本機で音楽が再生されます。

ヒント

- 本機と同時に複数のスピーカーを選んで、複数のスピーカーで音楽をストリーミングすることもできます。

Siriに話しかけて、音楽を本機でストリーミングする

iOSデバイスのホームアプリに本機を追加すると、Siriに話しかけて本機に音楽をストリーミングできます。

ご注意

- 本機はマイクを搭載していないため、本機に話しかけて操作することはできません。
- 本機でSiriのすべての機能を使えるわけではありません。

サウンドバー
HT-A3000

Sony | Music Centerを使う

Sony | Music Centerとは、スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器から、Sony | Music Center対応のソニー製オーディオ機器を操作するためのアプリです。

Sony | Music Centerについて詳しくは、以下のURLをご覧ください。

<https://www.sony.net/smcqa/>

- 1 モバイル機器に無料アプリSony | Music Centerをインストールする。
- 2 本機をつないでいる同一のネットワークにモバイル機器をWi-Fiでつなぐ。
- 3 Sony | Music Centerを起動する。
- 4 Sony | Music Centerの画面の指示にしたがって操作する。

ご注意

- Sony | Music Centerは最新版をご利用ください。
- 本機とBLUETOOTH機器をBLUETOOTH接続できない場合は、Sony | Music Centerをアンインストールして再度BLUETOOTH接続をお試しください。

ヒント

- 本機と同一のネットワークにモバイル機器をつないでください。

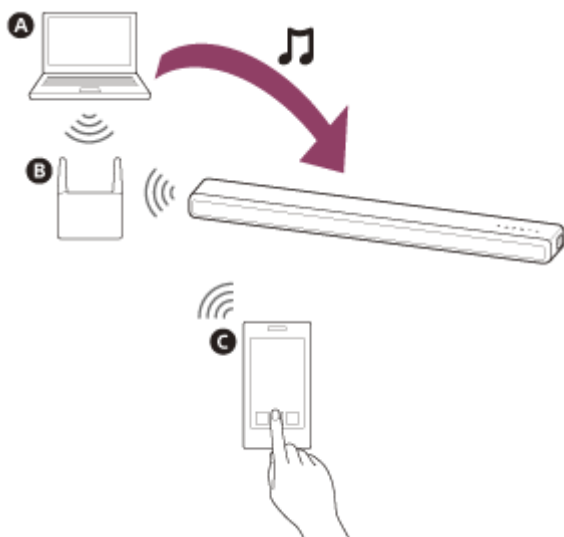
関連項目

- [ホームメニューで無線接続の設定をする](#)
- [Sony | Music Centerを使って無線接続の設定をする](#)
- [iOSデバイスを使ってWi-Fiの設定をする](#)

サウンドバー
HT-A3000

ホームネットワークでパソコンの音楽を聞く

ホームネットワーク上のパソコンに保存した曲を本機で聞くことができます。
スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器でSony | Music Centerを操作して、パソコンの音楽を再生します。



- A パソコン
- B 無線LANルーター
- C スマートフォンまたはタブレット

1 本機をネットワークにつなぐ。

2 パソコンをネットワークにつなぐ。

詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

3 パソコンを設定する。


ホームネットワークでパソコンを使うには、パソコンをサーバーとして設定する必要があります。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

4 Sony | Music Centerでパソコンの音楽を聞く

スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器にインストールしたSony | Music Centerを操作してパソコンの曲を再生します。Sony | Music Centerについては、下記のURLをご覧ください。

<https://www.sony.net/smcqa/>

ヒント

- 本機のネットワークの接続状況は、 [設定する] → [詳細設定] → [通信設定] → [ネットワークの設定確認] で確認できます。

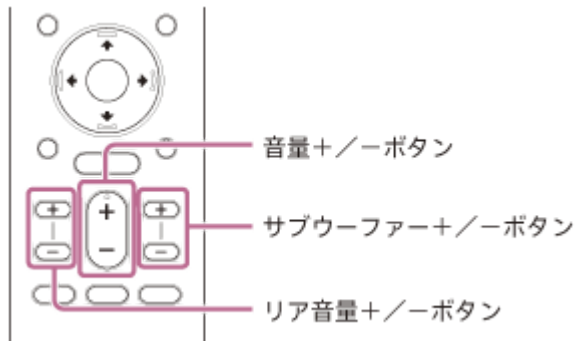
関連項目

- [ホームメニューで無線接続の設定をする](#)
- [Sony | Music Centerを使って無線接続の設定をする](#)
- [iOSデバイスを使ってWi-Fiの設定をする](#)

5-034-491-01(2) Copyright 2022 Sony Corporation

サウンドバー
HT-A3000

音量を調節する



本機の音量を調節する

音量 + / - ボタンを押します。
音量レベルは表示窓に表示されます。

サブウーファースの音量を調節する

サブウーファー + / - ボタンを押します。
音量レベルは表示窓に表示されます。

ご注意

- サブウーファーは低音を再生するためのスピーカーです。テレビ放送などの低音の少ない入力では、サブウーファースの音が聞こえにくいことがあります。

ヒント

- 別売のサブウーファースをつないでいるときは、内蔵サブウーファースの代わりに別売のサブウーファースの音量を調節します。

別売のリアスピーカースの音量を調節する

リア音量 + / - ボタンを押します。
音量レベルは表示窓に表示されます。

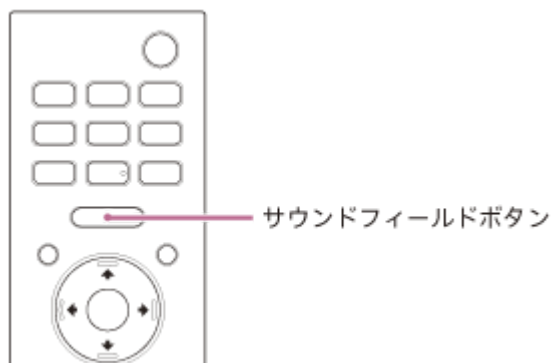
ご注意

- 別売のリアスピーカースは、マルチチャンネルサウンドのサラウンド部分を再生、または2チャンネルサウンドからバーチャル処理でサラウンドを再生するためのスピーカーです。サラウンド成分の少ない入力では、リアスピーカースからサラウンド成分の音が聞こえにくいことがあります。
- 別売のリアスピーカースをつないでいないときは、リア音量 + / - ボタンは効きません。

サウンドバー
HT-A3000

サラウンド効果を楽しむ（サウンドフィールド）

音源に合わせてサラウンド効果の有無を切り換えられます。



1 サウンドフィールドボタンを押して設定を選ぶ。



表示窓に設定が表示されます。

- **[SF.ON]** : サラウンド効果を加えて音声を再生します。ジャンルを問わず、臨場感のあるサラウンドを体感したいときに適しています。
- **[SF.OFF]** : サラウンド効果を加えずに音声を再生します。

ご注意

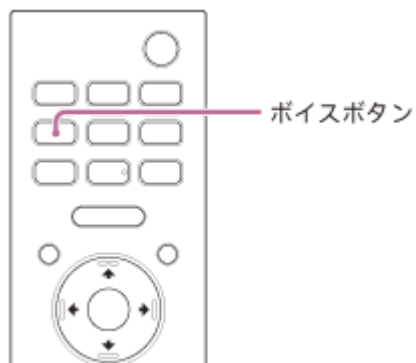
- 次の場合はサウンドフィールドボタンを押しても設定の切り換えができません。
 - BLUETOOTH送信モードでBLUETOOTH機器とつないでいるとき
 - テストトーン出力中
- Dolby Atmosなど音源によっては、本設定が入りに固定され変更できないことがあります。

ヒント

- サラウンド効果の種類は、 [設定する] → [詳細設定] → [音声設定] → [サウンドフィールド設定] で選ぶことができます。
 [設定する] → [詳細設定] → [音声設定] → [360 Spatial Sound Mapping] を [入] に設定しているときは、[サウンドフィールド設定] の設定を変更することはできません。

サウンドバー
HT-A3000

セリフを聞きやすくする（ボイス）



1 ボイスボタンを押して設定を選ぶ。

表示窓に設定が表示されます。

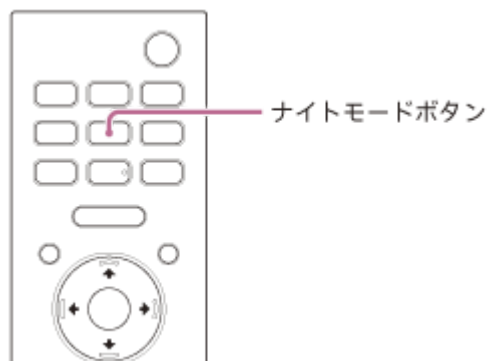
- **[Vo.ON]** : セリフを強調し、聞こえやすくします。
- **[Vo.OFF]** : ボイスモード機能を無効にします。

ご注意

- BLUETOOTH送信モードでBLUETOOTH機器とつないでいるときは、ボイスモードは無効になります。

サウンドバー
HT-A3000

深夜の小音量時でも明瞭感のあるサウンドで楽しむ（ナイトモード）



1 ナイトモードボタンを押して設定を選ぶ。

表示窓に設定が表示されます。

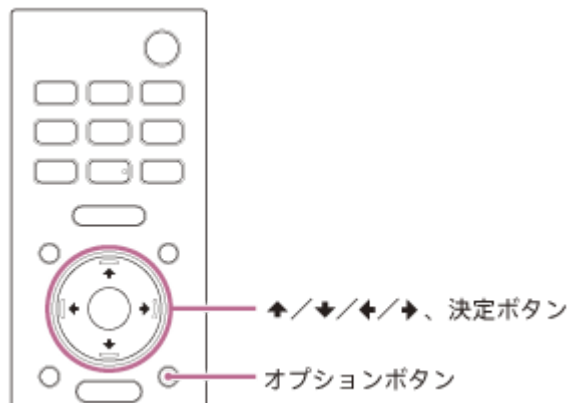
- **[N.ON]** : 小さい音でも音響効果やセリフの明瞭さを失わずに音声を楽しめます。
- **[N.OFF]** : ナイトモード機能を無効にします。

ご注意

- 本機の電源を切ると、ナイトモードは自動的に [N.OFF] に設定されます。
- BLUETOOTH送信モードでBLUETOOTH機器とつないでいるときは、ナイトモードは無効になります。

サウンドバー
HT-A3000

音声と映像のずれを調節する



- 1 オプションボタンを押す。**
表示窓に [SYNC] と表示されます。
- 2 → (右) ボタンまたは決定ボタンを押す。**
表示窓に音声と映像のずれを調節する時間が表示されます。
- 3 ↑ (上) / ↓ (下) ボタンで音声と映像のずれを調節し、決定ボタンを押す。**
0 msec~300 msecの間で25 msecきざみで調節できます。
- 4 オプションボタンを押す。**
元の表示に戻ります。

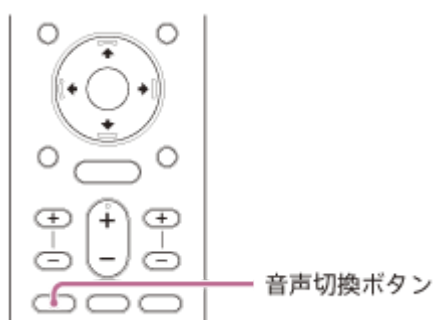
サウンドバー
HT-A3000

2か国語放送の音声を切り換える（音声切換）

2か国語放送は、BSデジタル放送や地上デジタル放送で採用されているAAC音声方式で放送されています。お使いのテレビのHDMI端子がeARCまたはARC機能に対応している場合は、HDMIケーブル経由でAAC音声を聞くことができます。

お使いのテレビのHDMI端子がeARCまたはARC機能に対応していない場合は、テレビなどデジタルチューナー搭載機器と本機を、光デジタル音声ケーブル（別売）でつなぎます。

また、テレビなどデジタルチューナー搭載機器側でも「光デジタル音声出力」の設定を行う必要があります。デジタルチューナー搭載機器が、デジタル出力端子からAAC音声信号を出力するように設定してください。詳しくは、デジタルチューナー搭載機器の取扱説明書をご覧ください。



1 音声切換ボタンを押して設定を選ぶ。

表示窓に設定が表示されます。

- **[MAIN]** : 主音声を再生します。
- **[SUB]** : 副音声を再生します。
- **[MN/SB]** : 主音声は左のスピーカーから、副音声は右のスピーカーから再生されます。

関連項目

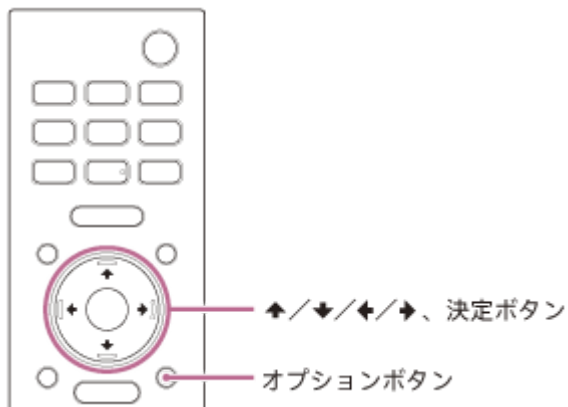
- [ARC/eARC対応のテレビとつなぐ](#)
- [ARC/eARC非対応のテレビとつなぐ](#)

サウンドバー
HT-A3000

DTS:X再生中にセリフの音量を調節する

セリフの音量を調節することにより、セリフの音量を背景の音から際立たせ、騒がしい環境でも映画などのセリフを聞き取りやすくします。この機能はDTS:Xダイアログコントロールに対応したコンテンツを再生しているときに働きます。

入力によって調節のしかたが異なります。



- 1 オプションボタン**を押し、**↑** (上) / **↓** (下) ボタンで本体表示窓に [DIALOG] を表示させて、**決定ボタン**を押し。
- 2 ↑** (上) / **↓** (下) ボタンでセリフの音量レベルを調節し、**決定ボタン**を押し。
0.0 dB~6.0 dBの間で1.0 dBきざみで調節できます。
- 3 オプションボタン**を押し。
元の表示に戻ります。

サウンドバー
HT-A3000

テレビと本機を連携して操作する (HDMI機器制御機能)

HDMI機器制御機能対応のテレビと本機をHDMIケーブルでつなぐと、本機とテレビの電源の入/切や音量の調節を連携させることができます。

HDMI機器制御機能とは

HDMI (High-Definition Multimedia Interface) ケーブルでつないだ機器同士が連携して動作する機能のことです。HDMI機器制御機能に対応した機器間で働きますが、他社製の機器とつないだ場合に動作しない場合があります。

テレビと連携して使う準備をする

本機とHDMIケーブルでつないだテレビのHDMI機器制御機能を有効にしてください。
本機のHDMI機器制御機能のお買い上げ時の設定は [入] です。

ヒント

- ブルーレイディスクレコーダーなどの機器をHDMIケーブルでテレビにつないでいる場合は、その機器のHDMI機器制御機能も有効にしてください。
- テレビやブルーレイディスクレコーダーなどの機器のHDMI機器制御機能を有効にするには、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- ソニー製のテレビをご使用の場合は、テレビのHDMI機器制御 (“ブラビアリンク”) 機能を有効にすると、本機のHDMI機器制御機能も自動的に有効になります。設定が完了すると、表示窓に [DONE] が表示されます。

テレビのリモコンで本機の電源や音量を操作する

テレビのリモコンで電源や音量を操作すると、テレビに連携して本機が動作します。



- A テレビ
- B テレビのリモコン

電源の連動

テレビの電源を入れると、本機の電源も自動的に入ります。テレビの電源を切ると、本機の電源も自動的に切れます。

ご注意

- テレビの電源を切るよりも前に本機の電源を切ると、次にテレビの電源を入れても本機の電源が入らないことがあります。この場合、以下の操作をすると本機の電源が入ります。
 - テレビのメニューで、本機をスピーカー出力先に選ぶ。
 - ソニー製のテレビをお使いの場合は、テレビの電源が入っている状態で本機の電源を入れる。

音量の調節

テレビで視聴している映像の音声自動的に本機のスピーカーから出力されます。また、テレビのリモコンで本機の音量を調節できます。

その他の連携する機能

テレビのリモコンで本機のメニュー操作

テレビのリモコンで入力切替やリンクメニューを操作して本機の機器名を選ぶと、本機のメニューを操作できます。


ご注意

- リンクメニューは、一部のソニー製テレビで対応しています。お使いのテレビがリンクメニューに対応しているかは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

言語設定

テレビ画面上の言語設定を変更すると、本機の画面の表示言語も切り替わります。

ヒント

- ホームメニューで  [設定する] → [詳細設定] → [HDMI設定] を選ぶと、HDMI機器制御機能の設定を変更できます。

サウンドバー
HT-A3000

“ブラビアリンク”対応テレビと本機を連携して操作する

“ブラビアリンク”はHDMI機器制御機能をソニーが独自に拡張した機能です。“ブラビアリンク”対応のテレビやブルーレイディスクレコーダーなどの機器をHDMIケーブルでつなぐと、これらの機器を連携して操作ができます。

“ブラビアリンク”を使うには

ソニー製の機器のHDMI機器制御機能を有効にすると、“ブラビアリンク”が有効になります。

“ブラビアリンク”でできること

HDMI機器制御機能

- 電源の連動
- 音量の調節
- テレビのリモコンで本機のメニュー操作
- 言語設定

オーディオ機器コントロール

テレビの入力を切り換えることなく、本機の設定、入力切替などができます。

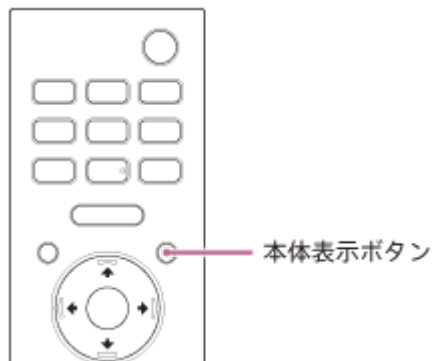
関連項目

- [テレビと本機を連携して操作する \(HDMI機器制御機能\)](#)

サウンドバー
HT-A3000

表示窓とランプの明るさを調整する（本体表示）

表示窓とBLUETOOTHランプの明るさを調節できます。別売のサブウーファーやリアスピーカーのランプの明るさも調節できます。



1 本体表示ボタンを押して設定を選ぶ。

表示窓に設定が表示されます。


- **[BRIGHT]** : 表示窓とランプは明るく点灯します。
- **[DARK]** : 表示窓とランプは暗く点灯します。
- **[OFF]** : 表示窓とランプは消灯します。

ご注意

- **[OFF]** を選ぶと表示窓とランプが消灯します。いずれかのボタンを押すと点灯し、約10秒間操作をしないとまた消灯になります。表示窓とランプが消えない場合もありますが、その場合の明るさは **[DARK]** と同じです。

サウンドバー
HT-A3000

スタンバイ時の待機電力を抑える

スタンバイ時の消費電力を抑えるには、 [設定する] → [詳細設定] → [本体設定] → [ネットワーク/Bluetoothスタンバイ] を [切] に設定します。

サウンドバー
HT-A3000

かんたん設定を行う

【かんたん設定】で、本機の基本的な設定やスピーカー設定、ネットワーク設定を簡単に行うことができます。

1 ホームボタンを押す。

テレビ画面にホームメニューが表示されます。

2 ホームメニューで 【設定する】 → 【かんたん設定】 を選ぶ。

テレビ画面に【かんたん設定選択】画面が表示されます。

3 設定したい項目を選ぶ。

- 【かんたん初期設定】：本機の基本的な設定（スピーカー設定、ネットワーク設定を含む）を行います。
- 【かんたんサウンド設定】：お使いの環境に合わせてサラウンドを最適化するために基本的なスピーカーの設定をします。別売のサブウーファーやリアスピーカーをつなぐと、この設定を利用できます。
- 【かんたんネットワーク設定】：基本的なネットワーク設定を行います。

4 テレビ画面の指示に従って設定を行う。

サウンドバー
HT-A3000

【詳細設定】メニューの使いかた

【詳細設定】メニューでは、画像や音声などのさまざまな設定を行うことができます。









1 ホームボタンを押す。

テレビ画面にホームメニューが表示されます。

2 ホームメニューで 【設定する】 → 【詳細設定】 を選ぶ。

テレビ画面に【詳細設定】画面が表示されます。

3 お好みの設定を選ぶ。

-  【スピーカー設定】：スピーカーの設置や接続に関する設定をします。
-  【音声設定】：音声の出力に関する設定をします。
-  【HDMI設定】：HDMIに関する設定をします。
-  【Bluetooth設定】：BLUETOOTH機能の詳細設定をします。
-  【本体設定】：本機に関する設定をします。
-  【通信設定】：インターネットの詳細設定をします。
-  【設定初期化】：本機の設定を初期化します。
-  【ソフトウェアアップデート】：本機や別売のサブウーファー/リアスピーカーのソフトウェアを最新のバージョンにアップデートします。

サウンドバー
HT-A3000

【スピーカー設定】

【スピーカー設定情報選択】

【音場最適化】の測定値、または、【マニュアルスピーカー設定】の設定値のどちらか一方をスピーカー設定に反映することができます。別売のサブウーファーやリアスピーカーをつないで、【音場最適化】を実行し、【360 Spatial Sound Mapping】を無効にすると、この設定を利用できます。

【音場最適化の測定値】：【音場最適化】の測定値をスピーカー設定に反映します。

【マニュアルスピーカー設定の設定値】：【マニュアルスピーカー設定】の設定値をスピーカー設定に反映します。

【音場最適化】

この機能では、本機から別売のサブウーファー(*1)やリアスピーカー(*1)までの距離を自動的に測定し、設置環境に合わせてサラウンド音声を最適化します。

画面の指示にしたがって測定を開始してください。最適化には最大30秒ほどかかります。最適化を行っている間はスピーカーから大きな音が出ることがあります。

*1 別売のサブウーファーやリアスピーカーを使っているときのみ測定します。

ご注意

- 最適化を行っている間は、大きな音をたてたり、スピーカーの前をさえぎったりしないでください。

【音場の調整】

● 【音場の調整 (方向)】

画面の指示にしたがって、フロントスピーカーとテレビの間、およびスピーカーと視聴位置の間の位置関係を設定します。セリフなどの音が聞こえる向きを調整して映像と音の一体感を改善したり、音の向きとバランスを整えて臨場感を改善します。

別売のリアスピーカーをつないで、【360 Spatial Sound Mapping】機能を有効にすると、この設定を利用できます。

● 【音場の調整 (高さ)】 (*1)

音場の高さを調整します。

*1 接続するリアスピーカーによっては、この設定を利用できない場合があります。

● 【テストトーン】

使用できるスピーカー確認のために、スピーカーからテストトーンを出力します。

【入】：テストトーンを出力します。

【切】：テストトーンは出力されません。

【マニュアルスピーカー設定】

サラウンド音声を十分に楽しむために、視聴位置からスピーカーまでの距離やレベルなどを設定します。

【360 Spatial Sound Mapping】を無効にすると、この設定を利用できます。

● 【距離】

視聴位置からスピーカーまでの距離を設定します。

0 m～10 mの範囲で設定できます(0.1 mきざみ)。

【フロント】：フロントスピーカーの距離を設定します。

- [サブウーファー] (*1) : 別売のサブウーファーの距離を設定します。
- [リアスピーカー (左)] (*2) : 別売のリアスピーカー (左) の距離を設定します。
- [リアスピーカー (右)] (*2) : 別売のリアスピーカー (右) の距離を設定します。

*1 別売のサブウーファーを使っているときのみ表示されます。

*2 別売のリアスピーカーを使っているときのみ表示されます。

● 【レベル】

スピーカーの音量レベルを調節します。

-6.0 dB~6.0 dBの範囲で設定できます (0.5 dBきざみ)。

- [フロント] : フロントスピーカーのレベルを設定します。
- [サブウーファー] (*1) : 別売のサブウーファーのレベルを設定します。
- [リアスピーカー (左)] (*2) : 別売のリアスピーカー (左) のレベルを設定します。
- [リアスピーカー (右)] (*2) : 別売のリアスピーカー (右) のレベルを設定します。
- [リアハイト (左)] (*3) : 別売のリアハイトスピーカー (左) のレベルを設定します。
- [リアハイト (右)] (*3) : 別売のリアハイトスピーカー (右) のレベルを設定します。

*1 別売のサブウーファーを使っているときのみ表示されます。

*2 別売のリアスピーカーを使っているときのみ表示されます。

*3 別売のリアハイトスピーカーを使っているときのみ表示されます。

● 【天井までの高さ】

スピーカーから天井までの高さを設定します。

- [フロント] (*1) : フロントスピーカーから天井までの高さを設定します。1 m~5 mの範囲で設定できます (0.1 mきざみ)。
- [リアスピーカー (左)] (*2) : 別売のリアスピーカー (左) から天井までの高さを選択します。
- [リアスピーカー (右)] (*2) : 別売のリアスピーカー (右) から天井までの高さを選択します。

*1 接続するリアスピーカーによっては、この設定を利用できない場合があります。

*2 別売のリアスピーカーを使っているときのみ表示されます。

● 【テストトーン】

使用できるスピーカー確認のために、スピーカーからテストトーンを出力します。

- [入] : テストトーンを出力します。
- [切] : テストトーンは出力されません。

【ワイヤレススピーカー設定】

本機と別売のサブウーファー/リアスピーカーのワイヤレス接続に関連する設定をします。

● 【リンクモード】

別売のサブウーファーやリアスピーカーのつなぎかたを設定します。

- [自動] : 別売のサブウーファーやリアスピーカーを自動でつなぎます。
- [手動] : 別売のサブウーファーやリアスピーカーを手動でつなぎます。

● 【手動リンク開始】

別売のサブウーファーやリアスピーカーを本機と手動でつなぎます。詳しくは、別売のスピーカーに付属の取扱説明書をご覧ください。

● 【ワイヤレススピーカー接続確認】

別売のサブウーファーやリアスピーカーの接続状態を確認します。

● 【ワイヤレス周波数設定】

他の無線機器との干渉を減らします。

- [入] : 通常はこの設定にします。自動的にワイヤレス通信に最適な周波数を選びます。ワイヤレス混線に強いモードです。
- [切] : 外部からのワイヤレス干渉を防ぐために、固定された周波数帯を選びます。[入] を選んでいるときに音切れする場合は[切] を選ぶと改善することがあります。

● 【ワイヤレス再生品質】

別売のサブウーファーやリアスピーカーの再生品質を設定します。

- [音質優先] : ワイヤレスの接続状況より音質を優先します。

[接続優先] : 音質より接続状況を優先します。

● 【ソフトウェアバージョン】

別売のサブウーファーやリアスピーカーのソフトウェアのバージョンを確認します。

ご注意

- 別売のサブウーファーやリアスピーカーと一度もつないだことがない場合は、[ワイヤレス周波数設定]、[ワイヤレス再生品質]、[ソフトウェアバージョン] は選択できません。
- [ワイヤレス周波数設定] は、一部の国/地域では使用できません。

【テレビセンタースピーカー設定】

本機とテレビを付属のHDMIケーブルおよび付属のテレビセンタースピーカーモードケーブルでつなぐと、本機のセンター成分の音声をテレビから出力することができます。[HDMI 機器制御] を [入] にしてください。

● 【テレビセンタースピーカーモード】

[入] : 本機能に対応したテレビをセンタースピーカーとして使います。

[切] : この機能を使いません。

● 【テレビ位置設定】

画面の指示にしたがって、本機とテレビの位置関係を設定し、セリフなどの音声が聞こえる高さをテレビに合わせます。

ご注意

- コンテンツによってはテレビから音が出ない場合があります。
- リモコンのサウンドフィールドボタンを押してサラウンド効果を [サウンドフィールド : エフェクト入] に設定しているときは、テレビから音が出ません。

サウンドバー
HT-A3000

【音声設定】

【360 Spatial Sound Mapping】

スピーカーを設置したエリア以上の広さに、実際の数よりも多くのスピーカーが配置されたような、驚きの「360立体音響」体験を実現します。

別売のリアスピーカーを接続すると設定できます。

【入】：【360 Spatial Sound Mapping】機能を有効にします。

【切】：【360 Spatial Sound Mapping】機能を無効にします。

ご注意

- BLUETOOTH送信モードでBLUETOOTH機器とつないでいるときは、【360 Spatial Sound Mapping】設定は無効になります。

【サウンドフィールド設定】

サラウンド効果の種類を選びます。この効果はリモコンのサウンドフィールドボタンを押してサラウンド効果を【SF.ON】に設定しているときに有効になります。

♪ 【音声設定】→【360 Spatial Sound Mapping】を【切】にすると設定を変更できます。BLUETOOTH機能でヘッドホンと接続中は、本機能はご利用できません。

【Sony | Vertical Surround Engine】：Sony | Vertical Surround Engineがサラウンドとハイトスピーカーチャンネル音声を強調することによって、包み込まれるような臨場感のあるバーチャルサラウンドエフェクトを実現します。

【ドルビー・スピーカー・バーチャライザー】：Dolbyフォーマット再生中、ドルビー・スピーカー・バーチャライザーがサラウンドとハイトスピーカーチャンネル音声を強調することによって、包み込まれるような臨場感のあるバーチャルサラウンドエフェクトを実現します。Dolbyフォーマット以外を再生している場合は無効となります。

【DTS Virtual:X / DTS Neural:X】：サラウンド環境に合わせてアップミックスを行います。DTSフォーマット（96 kHz～192 kHz）やDolbyフォーマット、DSDフォーマットを再生している場合は無効となります。

【DSEE Extreme】

【入】：圧縮により失われた音源本来の周波数特性をAI技術で高精度に再現し、録音スタジオやコンサート会場にいるような臨場感を再現します。

【切】：この機能を使いません。

ご注意

- 44.1 kHzまたは48 kHzの2チャンネルデジタル入力信号に対応しています。
- DSD信号には対応していません。
- アップスケール後のサンプリング周波数/ビット深度は、最大96 kHz/24 bitとなります。
- この機能は下記の条件のときは働きません。
 - Chromecast built-in使用中
 - 【入力レベル自動調整】が【入】に設定されているとき
 - リモコンのサウンドフィールドボタンを押してサラウンド効果を【サウンドフィールド：エフェクト入】に設定しているとき

【オーディオDRC】

音声信号のダイナミックレンジ（最大音量から最小音量の幅）を圧縮して、小さな音を聞きとりやすくします。

〔自動〕：Dolby TrueHDでエンコードされた音声自動的に圧縮します。

〔入〕：DolbyやDTS音声をレコーディングエンジニアが意図したダイナミックレンジで再生します。

〔切〕：ダイナミックレンジを圧縮しません。

【入カレベル自動調整】

入力信号による音量の変化を小さくします。例えばコマーシャルの音量が番組の音量より大きい場合などに有効です。

〔入〕：自動で音量を調節します。

〔切〕：この機能を使いません。

ご注意

- 入カレベル自動調整は、音楽を聞く際には適していません。

関連項目

- [サラウンド効果を楽しむ（サウンドフィールド）](#)

サウンドバー
HT-A3000

[HDMI設定]

[HDMI機器制御]

[入] : HDMI機器制御機能を有効にします。HDMIケーブルでつないだ機器を相互に操作することができます。
[切] : この機能を使いません。

[電源オフ連動]

この機能は[HDMI機器制御]を[入]にすると使えます。

[自動] : 本機の入力が[TV]、[HDMI]のときのみ、テレビの電源を切ると本機の電源も連動して切れます。
[する] : 本機の入力にかかわらず、テレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。
[しない] : テレビの電源を切っても本機の電源は連動しません。

[TV音声入力モード]

本機をテレビのeARCまたはARC対応HDMI入力端子につないでいる場合に設定します。eARCまたはARC機能は[HDMI機器制御]を[入]にすると使えます。

[自動] : テレビの音声を本機のスピーカーで聞くことができます。[自動]に設定すると、eARCまたはARCの音声
が優先されます。
[光デジタル(OPT)] : 光デジタル音声ケーブルをつないだ場合は、この設定にします。

[eARC]

本機をテレビのeARC対応HDMI入力端子につないでいるときに設定します。ARC対応テレビ(eARC非対応テレビ)につないでいるときは、この設定に関係なくARC機能が働きます。

[入] : eARC機能を有効にします。eARC対応テレビにつないでいるとき、eARC機能が働きます。
[切] : eARC機能を使いません。

ご注意

- [eARC]を[入]に設定したときは、テレビのeARC設定を確認してください。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

ヒント

- 本機はeARC (Enhanced Audio Return Channel) とARC (Audio Return Channel) に対応しています。
- eARCに対応したテレビと本機をHDMIケーブルでつなぐことにより、ARCでは伝送できなかったDolby Atmos-Dolby TrueHDやDTS:XなどのオブジェクトオーディオやマルチチャンネルLPCMを楽しむことができます。
eARC対応テレビとの接続方法は、「[ARC/eARC対応のテレビとつなぐ](#)」をご覧ください。

サウンドバー
HT-A3000

[Bluetooth設定]

[Bluetoothモード]

BLUETOOTH®機器の音声を本機で聞いたり、BLUETOOTH対応ヘッドホンで本機の音声を聞くことができます。

[受信] : 本機が受信モードになり、BLUETOOTH機器からの音声を本機で出力します。

[送信] : 本機が送信モードになり、本機の音声がBLUETOOTH対応ヘッドホンへ送信されます。本機の入力を切り換えると表示窓に [BT TX] と表示されます。

[切] : 本機のBLUETOOTH機能がオフになり、[Bluetooth Audio] 入力を選べません。

ご注意

- [Bluetoothモード] が [送信] に設定されているとき、以下の設定は無効になります。
 - [360 Spatial Sound Mapping]
 - [サウンドフィールド設定]

[機器リスト]

[Bluetoothモード] が [受信] のとき : 機器登録 (ペアリング) 済みのBLUETOOTH機器のリストが表示されます。

[Bluetoothモード] が [送信] のとき : 機器登録 (ペアリング) 済みもしくは検出されたBLUETOOTH対応ヘッドホンのリストが表示されます。

[Bluetooth接続品質]

モバイル機器の音声を本機で聞くときのBLUETOOTH接続品質を設定します。

この機能は [Bluetoothモード] が [受信] に設定されているときに使えます。

[音質優先] : 音質を優先します。コーデックは、本機に接続されている機器がサポートしているコーデックに応じて、LDAC、AAC、SBCが自動的に選択されます。

[接続優先] : 安定した接続を優先します。コーデックはSBCに設定されます。

ご注意

- BLUETOOTH機器と接続中は、[Bluetooth接続品質] の設定を変更することができません。

[ワイヤレス再生品質]

LDAC再生のデータ転送レートを設定できます。この機能は [Bluetoothモード] が [送信] に設定されているときに使えます。

[LDAC音質優先] : LDACコーデックが有効になり、高ビットレートが使われます。音声は高品質で送信されますが、接続状況がよくないとき音声の再生が不安定になることがあります。オーディオ再生が不安定なときは、[LDAC接続優先 (自動)] を選択してください。

[LDAC接続優先 (自動)] : LDACコーデックが有効になり、ご使用の環境によってデータの転送速度が自動で変わります。

[SBC音質優先] : SBCコーデックが有効になります。音声は高音質で送信されます。

[SBC接続優先 (自動)] : SBCコーデックが有効になり、ご使用の環境によってデータの転送速度が自動で変わります。

ご注意

- BLUETOOTH機器と接続中は、[ワイヤレス再生品質] の設定を変更することができません。

サウンドバー
HT-A3000

【本体設定】

【言語】

テレビ画面で表示される本機の画面の言語を選ぶことができます。

【IRリピーター】

【入】：テレビのリモコン信号が本体背面から送信されます。

【切】：この機能を使いません。

【ネットワーク/Bluetoothスタンバイ】

【入】：ネットワーク経由またはBLUETOOTH機能で本機の電源を入れることができます。

【切】：本機の待機電力を抑えることができます。本機の電源を入れた後、別売のサブウーファーやリアスピーカーから音声が出力されるまで時間がかかることがあります。

ご注意

- Chromecast built-inを使うことに同意すると、【ネットワーク/Bluetoothスタンバイ】は自動的に【入】になります。
- 【ワイヤレス周波数設定】を【入】にすると、【ネットワーク/Bluetoothスタンバイ】は自動的に【入】になります。

【自動電源オフ】

【入】：【自動電源オフ】を有効にします。何も操作されないまま無入力状態で約20分が経過すると、自動的にスタンバイ状態になります。

【切】：この機能を使いません。

【機器名設定】

次の機能を使うときに表示される本機の名前を、わかりやすい名前に変更できます。

- BLUETOOTH機能
- ホームネットワーク
- Spotify
- Chromecast built-in

テレビ画面の説明に従い画面のキーボードを使って名前を入力してください。

本機の名前を日本語で表示させたい場合は、Google Homeアプリから設定してください。

【本体情報】

本機のソフトウェアバージョンなどの本体情報を表示します。

【ソフトウェアライセンス】

ソフトウェア使用許諾契約を表示します。

5-034-491-01(2) Copyright 2022 Sony Corporation

サウンドバー
HT-A3000

【通信設定】

【Wi-Fi接続】

- [入] : 本機のWi-Fi接続を有効にします。
[切] : 本機のWi-Fi接続を無効にします。

【ネットワーク設定】

ネットワーク設定をしたり接続の確認をします。

【ネットワークの設定確認】

現在のネットワークの接続状態を表示します。

【ソフトウェアアップデート通知】

- [入] : 本機のソフトウェア最新バージョン情報を通知します。
[切] : 通知しません。

【自動アップデート設定】

● 【自動アップデート】

- [入] : ソフトウェアアップデートは選んだ【タイムゾーン】の現地時間午前2時~5時の間で、本機を使用していない間に自動的に実行されます。ただし、【ネットワーク/Bluetoothスタンバイ】が【切】に設定されている場合は、本機の電源を切った直後に実行されます。
[切] : この機能を使いません。

● 【タイムゾーン】

お住まいの地域/都市を選んでください。

ご注意

- ソフトウェアアップデートの内容によっては、【自動アップデート】が【切】に設定されていてもアップデートが実行される場合があります。
- ソフトウェアアップデートはアップデートの公開から11日以内に自動的に実行されます。
- Chromecast built-inを使うことに同意すると、【自動アップデート】は自動的に【入】になります。

【プライバシーの設定】

本機には、機器の使用状況を収集する機能が搭載されています。設定時に表示されるプライバシーポリシーをご確認いただき、情報収集の可否を設定してください。

- [承諾する] : 機器の使用状況の情報収集に同意する場合に選んでください。
[承諾しない] : 機器の使用状況の情報収集に同意しない場合に選んでください。

ヒント

- [承諾する] を選んでも、[承諾しない] を選びなおす、または [設定初期化] で [通信設定] をお買い上げ時の設定に戻すと、情報収集を中止できます。

[Chromecast built-in]

使用状況データの共有の設定と、Chromecast built-inについて確認ができます。

- **[使用状況データの共有]**
 - [入] : キャスト機能の使用に関する情報をGoogle™に提供します。
 - [切] : 情報を提供しません。
- **[Chromecast built-inについて]**

Chromecast built-in機能について、参照先を表示します。

サウンドバー
HT-A3000

【設定初期化】

各設定ごとにお買い上げ時の設定に戻します。選んだ設定のすべての項目がお買い上げ時の設定に戻るので、ご注意ください。

関連項目

- [初期化する](#)

サウンドバー
HT-A3000

【ソフトウェアアップデート】

本機や別売のサブウーファー／リアスピーカーのソフトウェアをアップデートします。

関連項目

- [ソフトウェアをアップデートする](#)


サウンドバー
HT-A3000

ソフトウェアをアップデートする

最新バージョンのソフトウェアをダウンロードすることにより、最新の機能を楽しめます。
アップデート情報については下記のホームページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support>

ご注意

- アップデートが終了するまでに約20分かかることがあります。
- ネットワーク経由でのアップデートには、インターネット環境が必要です。
- ソフトウェアアップデート中は、本機の電源を切ったり、電源コードを抜いたり、HDMIケーブルを抜き差ししたり、本機やテレビの操作をしたりしないでください。ソフトウェアアップデート終了までお待ちください。
- 自動的にソフトウェアアップデートを実行させたい場合は、 [設定する] → [詳細設定] → [通信設定] → [自動アップデート設定] → [自動アップデート] を [入] に設定してください。ソフトウェアアップデートの内容によっては、[自動アップデート] が [切] に設定されていてもアップデートが実行される場合があります。

- 1 **別売のサブウーファーをお使いの場合は、電源が入っていて本機とつながれていることを確認する。別売のリアスピーカーをお使いの場合は、コンセントにつないで電源が入っていて本機とつながれていることを確認する。**

別売のサブウーファーやリアスピーカーの電源ランプが緑色に点灯します。

- 2 **ホームボタンを押す。**

テレビ画面にホームメニューが表示されます。

- 3 **ホームメニューで  [設定する] → [詳細設定] を選ぶ。**

ネットワーク上でアップデート情報が見つかった場合、アップデート通知および [ソフトウェアアップデート] がホームメニューに表示されます。この場合は [ソフトウェアアップデート] を選び、画面の指示に従ってください。

- 4 **[ソフトウェアアップデート] を選ぶ。**

テレビ画面に [ソフトウェアアップデート] 画面が表示されます。

- 5 **アップデートする項目を選ぶ。**

↑ (上) / ↓ (下) ボタンを押してアップデートする項目を選んで決定ボタンを押し、画面の指示に従ってソフトウェアをアップデートします。

アップデートが始まると本機は自動的に再起動します。

ソフトウェアアップデート中は、表示窓に [UPDATE] と表示されます。

アップデートが終了すると、本機は自動的に再起動します。

[ネットワークアップデート]

ネットワークを使用してソフトウェアをアップデートします。ネットワークがインターネットにつながっていることを確認してください。

【USBアップデート】



USBメモリーを使用してソフトウェアをアップデートします。詳しくは、アップデートファイルのダウンロード時に表示される手順をご覧ください。

【ワイヤレススピーカーをアップデート】

ワイヤレススピーカーのソフトウェアをアップデートするときは、ワイヤレススピーカーをコンセントにつなぎ電源を入れてください。

本機のソフトウェアが最新のと看、別売のサブウーファーやリアスピーカーのソフトウェアをアップデートします。

ご注意

- バースピーカーの  (BLUETOOTH) ボタンと  (電源) ボタンを同時に7秒間押して【USBアップデート】を行うこともできます。
- 別売のサブウーファーやリアスピーカーのアップデートがうまくいかない場合は、バースピーカーの近くに移動させてアップデートを行ってください。

サウンドバー
HT-A3000

故障かな?と思ったら

本機の調子がおかしいときは、次の順序で対処してください。

1. 本書や取扱説明書で、該当するトラブルと解決方法を調べる。

「故障かな?と思ったら」に、正常に動作しないときの対処方法を記載しています。



2. サポートサイトで、該当するトラブルと解決方法を調べる。

サポートサイトには、最新のサポート情報やよくある質問とその回答を記載しています。

<https://www.sony.jp/support>



3. 本機を初期化する。

本機のすべての設定がお買い上げ時の状態に戻ります。



4. それでも正常に動作しない場合は、お買い上げ店またはソニー相談窓口にお問い合わせる。


サウンドバー
HT-A3000

電源が入らない

- 電源コードがしっかり差し込まれているか確認してください。
- 電源コードをコンセントから抜いて電源を切り、数分後に再び電源コードを差し直してください。


サウンドバー
HT-A3000

テレビの電源を入れても、本機の電源が入らない

-  [設定する] → [詳細設定] → [HDMI設定] → [HDMI機器制御] を [入] に設定してください。テレビがHDMI機器制御機能に対応している必要があります。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビのスピーカー設定を確認してください。本機の電源はテレビのスピーカー設定に連動します。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビによっては、前回テレビのスピーカーから音声が出力されていた場合は、テレビの電源を入れても本機の電源が入らない場合があります。


サウンドバー
HT-A3000

テレビの電源を切ると、本機の電源が切れる

-  [設定する] → [詳細設定] → [HDMI設定] → [電源オフ連動] を確認してください。[する] または [自動] に設定している場合は、テレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。



サウンドバー
HT-A3000

テレビの電源を切っても、本機の電源が切れない

-  [設定する] → [詳細設定] → [HDMI設定] → [電源オフ連動] を確認してください。本機の入力にかかわらず、テレビの電源を切ったときに本機の電源も連動させたい場合は、[する] に設定してください。テレビがHDMI機器制御機能に対応している必要があります。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

サウンドバー
HT-A3000

本機の電源が切れない

- 本機がデモモードになっている可能性があります。デモモードを解除するには、本機を初期化します。バースピーカーの  (電源) ボタンと  (音量) ボタンを5秒以上押してください。

サウンドバー
HT-A3000

映像が出ない、正しく出力されない

- 適切な入力を選んでください。
- テレビ入力を選んでいてもテレビの映像が出ない場合は、テレビのリモコンで見たいチャンネルを選んでください。
- HDMIケーブルを抜いて、差し直してください。HDMIケーブルは、奥までしっかり差し込んでください。

サウンドバー
HT-A3000

テレビの映像が乱れる

- テレビもしくは他の無線機器と本機の無線機能の干渉が起きています。本機を対象の機器と離して設置してください。
- 無線LANと別売スピーカーの無線接続の周波数帯の干渉が起きています。テレビもしくは映像を再生している機器の無線LAN周波数を2.4 GHz帯に切り換えてください。
- テレビの電波と本機の無線機能との干渉が起きています。本機の無線LAN周波数を5 GHz帯に切り換えてください。




サウンドバー
HT-A3000

本機とテレビがBLUETOOTH機能でつながらない

- 本機とテレビをHDMIケーブルでつなぐと、BLUETOOTH接続が解除されます。

サウンドバー
HT-A3000

本機からテレビの音声がでない


- テレビと本機をつないでいるHDMIケーブル、テレビセンタースピーカーモードケーブル、または光デジタル音声ケーブルの種類や接続を確認してください。
- テレビと本機をつないでいるケーブル類を抜き、しっかり奥まで差し込み直してください。続けてテレビと本機の電源コードを抜き、差し込み直してください。
- テレビと本機をHDMIケーブルでつないでいる場合は、以下を確認してください。
 - 本機がテレビのeARCまたはARC対応HDMI入力端子につながれている。
 - テレビのHDMI機器制御機能が有効になっている。
 - テレビのeARC機能またはARC機能が有効になっている。
 - HDMI機器制御機能で制御できる機器の接続台数の制限を超えていない。
 - 本機の  [設定する] → [詳細設定] → [HDMI設定] → [HDMI機器制御] が [入]、  [設定する] → [詳細設定] → [HDMI設定] → [TV音声入力モード] が [自動] になっている。
- テレビがeARCに対応していない場合は、  [設定する] → [詳細設定] → [HDMI設定] → [eARC] を [切] に設定してください。
- お使いのテレビがeARCまたはARCに対応していない場合は、光デジタル音声ケーブルをつないでください。テレビがeARCまたはARCに対応していない場合は、本機をテレビのHDMI入力端子につないでもテレビの音声は本機から出力されません。
- 本機の入力をテレビ入力に切り換えてください。
- 本機の音量を上げる、または消音状態を解除してください。
- テレビと本機の電源を入れる順番によっては、本機が消音状態になり、本機の表示窓に [MUTING] と表示される場合があります。その場合は、テレビの電源を入れてから、本機の電源を入れてください。
- 付属のリモコンのTV/オーディオシステムボタンでテレビ音声の出力を切り換えるか、テレビ (ブラビア) のスピーカー設定をオーディオシステムに切り換えてください。設定方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [ARC/eARC対応のテレビとつなぐ](#)
- [ARC/eARC非対応のテレビとつなぐ](#)

サウンドバー
HT-A3000

本機とテレビの両方から音が出る

- 本機またはテレビを消音してください。
- テレビと本機をテレビセンタースピーカーモードケーブルでつないで  [設定する] → [詳細設定] → [スピーカー設定] → [テレビセンタースピーカー設定] → [テレビセンタースピーカーモード] を [入] にすると、本機のセンター成分の音声 テレビから出力されます。

サウンドバー
HT-A3000

本機から出るテレビの音声映像が遅れる

- 音声と映像のずれ調整機能の設定値が25 msec～300 msecに設定されていたら、0 msecに設定してください。
- 音源によっては、音声と映像がずれることがあります。お使いのテレビに映像を遅延させる機能がある場合は、そちらをご使用ください。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [音声と映像のずれを調節する](#)

サウンドバー
HT-A3000

本機につないだ機器の音声が出ない、または音が小さい

- リモコンの音量 + ボタンを押して、音量を上げてください。
- リモコンの消音ボタンや音量 + ボタンを押して、消音機能を解除してください。
- 正しい入力を選んでいるか確認してください。また、リモコンの入力選択ボタン (TV/USB/BLUETOOTH) を押して入力を切り換えてください。
- コネクターは奥までしっかり差ししてください。

サウンドバー
HT-A3000

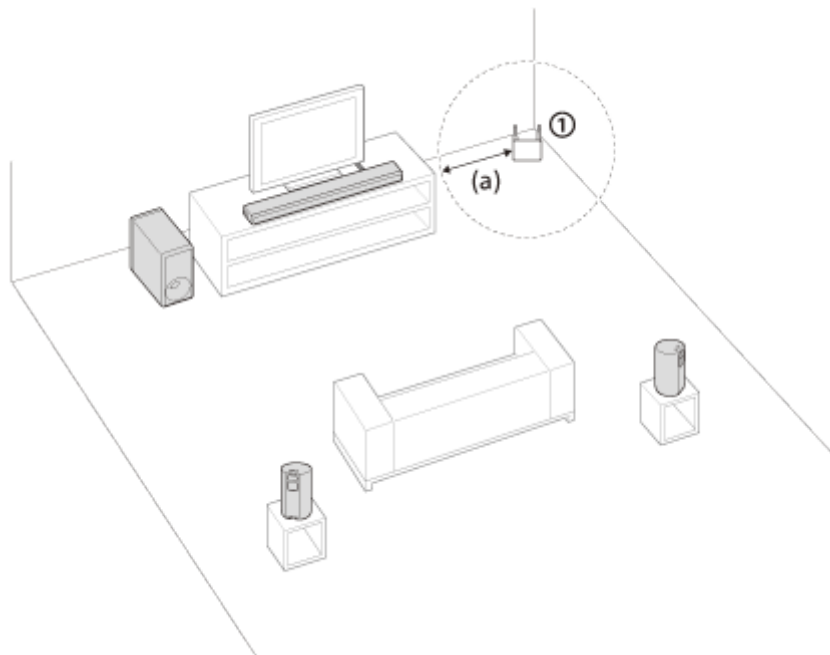
サラウンド効果が得られない

- サウンドフィールドボタンの設定と入力信号の組み合わせによっては、サラウンド処理による臨場感が得られないことがあります。また、番組やディスクによってはサラウンド成分が少ないことがあります。



サウンドバー
HT-A3000

別売のリアスピーカー／サブウーファーから音が出ない

- 本機や別売のリアスピーカー／サブウーファーを無線LANルーターなどから1.5 m以上離して設置してください。無線LANルーターの向きやアンテナの角度を変えると改善することがあります。



① 無線LANルーターなど (a) 1.5 m以上

-  [設定する] → [詳細設定] → [スピーカー設定] → [ワイヤレススピーカー設定] → [ワイヤレス再生品質] を [接続優先] に設定すると、改善される場合があります。
-  [設定する] → [詳細設定] → [スピーカー設定] → [ワイヤレススピーカー設定] → [ワイヤレス周波数設定] を一度 [切] にしてから [入] に切り換えてください。
- 無線LANや電子レンジなど電磁波を発生する機器がある場合は、その機器から本機を離してください。
- 別売のリアスピーカー／サブウーファーの取扱説明書をご覧ください。

サウンドバー
HT-A3000

音が出ないスピーカーがある

- サウンドフィールドボタンの設定と音源の組み合わせによっては、音が出力されないスピーカーがあります。
- 別売のリアスピーカーから音が出ない場合
リモコンのサウンドフィールドボタンを押してサラウンド効果を有効にすると、本機で音声信号のアップミックスを行い、すべてのスピーカーから音声を出力することができます。

音声信号	別売のリアスピーカーからの音声出力	
	[SF.ON]	[SF.OFF]
2chコンテンツ	○	-
マルチチャンネルコンテンツ	○	○

○：本機と別売のリアスピーカー両方から音声が出力されます。

-：本機からのみ音声が出力されます。別売のリアスピーカーからは音声が出力されません。

ご注意

- [サウンドフィールド設定] が [ドルビー・スピーカー・バーチャライザー] のときは入力したコンテンツによって出力されないスピーカーがあります。
- Dual Mono再生時は別売のリアスピーカーから音声は出力されません。


サウンドバー
HT-A3000

音場最適化が失敗する

- 別売のリアスピーカーをお使いの場合は、底面のラベルが下になるように立てて置いてください。
- 周囲が静かな状態で再度音場最適化を行ってください。
- バースピーカー、別売のリアスピーカー／サブウーファーの距離が近すぎたり、離れすぎたりすると音場最適化を正しく行うことができません。スピーカーの距離を調整して、再度行ってください。
- スピーカー同士の間には障害物があったり、測定用マイクが隠れていたりすると、音場最適化を正しく行うことができません。スピーカー同士の間や、スピーカーの目の前に障害物がある場合は、取り除いてください。

サウンドバー
HT-A3000

USB機器が認識されない

- 以下を試してください。
 1. 本機の電源を切る。
 2. USB機器を抜いて、つなぎ直す。
 3. 本機の電源を入れる。
- USB機器が  (USB) 端子にしっかりつながれているか確認してください。
- USB機器が破損していないか確認してください。
- USB機器がオンになっているか確認してください。
- USB機器がUSBハブやUSBケーブルを経由して本機とつながれている場合は、USB機器をUSBハブやUSBケーブルからはずして、本機に直接つないでください。
- ウォークマン®やスマートフォンをつないだ場合、機器の内部ストレージと外部ストレージ（メモリーカードなど）は検出されないことがあります。

サウンドバー
HT-A3000

機器登録（ペアリング）できない

- 本機とBLUETOOTH機器をできるだけ近づけてください。
- 無線LANや他の2.4 GHz無線機器や電子レンジなどの影響を受けていないか確認してください。電磁波を発生する機器がある場合は、その機器を本機から離して使ってください。

サウンドバー
HT-A3000

BLUETOOTH接続ができない

- バースピーカーのBLUETOOTHランプが点灯していることを確認してください。
- 接続相手のBLUETOOTH機器の電源が入っているか、BLUETOOTH機能が有効になっているか確認してください。
- 本機とBLUETOOTH機器をできるだけ近づけてください。
- 本機とBLUETOOTH機器を再度、機器登録（ペアリング）してください。BLUETOOTH機器側で、本機の登録を解除する必要がある場合があります。
- ペアリング情報が消えている場合があります。もう一度ペアリング操作を行ってください。

関連項目

- [モバイル機器を機器登録（ペアリング）して音楽を聞く](#)

サウンドバー
HT-A3000

つないだBLUETOOTH機器の音が出ない

- バースピーカーのBLUETOOTHランプが点灯していることを確認してください。
- 本機とBLUETOOTH機器をできるだけ近づけてください。
- 無線LANや他のBLUETOOTH機器、電子レンジを使用している場所など、電磁波を発生する機器がある場合は、その機器を本機から離して使ってください。
- 本機とBLUETOOTH機器との間に障害物がある場合は、障害物を避けるか取り除いてください。
- 接続相手のBLUETOOTH機器の位置を変えてください。
- 無線LANルーターやパソコンなどの無線LAN周波数を5 GHz帯に切り換えてください。
- BLUETOOTH機器側の音量を上げてください。

関連項目

- [モバイル機器を機器登録（ペアリング）して音楽を聞く](#)

サウンドバー
HT-A3000

機器登録（ペアリング）できない

- 本機とBLUETOOTH対応ヘッドホンをできるだけ近づけてください。
- 無線LANや他の2.4 GHz無線機器や電子レンジなどの影響を受けていないか確認してください。電磁波を発生する機器がある場合は、その機器を本機から離して使ってください。

サウンドバー
HT-A3000

BLUETOOTH接続ができない


- バースピーカーのBLUETOOTHランプが点灯していることを確認してください。
 - 接続相手のBLUETOOTH対応ヘッドホンの電源が入っているか、BLUETOOTH機能が有効になっているか確認してください。
 - 本機とBLUETOOTH対応ヘッドホンをできるだけ近づけてください。
 - 本機とBLUETOOTH対応ヘッドホンを再度、機器登録（ペアリング）してください。BLUETOOTH対応ヘッドホン側で、本機の登録を解除する必要がある場合があります。
 - ペアリング情報が消えている場合があります。もう一度ペアリング操作を行ってください。
-

関連項目

- [モバイル機器を機器登録（ペアリング）して音楽を聞く](#)
- [ヘッドホンと機器登録（ペアリング）して聞く](#)

サウンドバー
HT-A3000

つないだBLUETOOTH対応ヘッドホンから音が出ない

- バースピーカーのBLUETOOTHランプが点灯していることを確認してください。
- 本機とBLUETOOTH対応ヘッドホンをできるだけ近づけてください。
- 無線LANや他のBLUETOOTH機器、電子レンジを使用している場所など、電磁波を発生する機器がある場合は、その機器を本機から離して使ってください。
- 本機とBLUETOOTH対応ヘッドホンとの間に障害物がある場合は、障害物を避けるか取り除いてください。
- 接続相手のBLUETOOTH対応ヘッドホンの位置を変えてください。
- 無線LANルーターやパソコンなどの無線LAN周波数を5 GHz帯に切り換えてください。
- BLUETOOTH対応ヘッドホン側の音量を上げてください。
-  [設定する] → [詳細設定] → [Bluetooth設定] → [ワイヤレス再生品質] を [LDAC接続優先(自動)] または [SBC接続優先(自動)] に設定してください。
- 著作権保護コンテンツとして保護されているコンテンツは出力されないことがあります。

関連項目

- [モバイル機器を機器登録\(ペアリング\)して音楽を聞く](#)

サウンドバー
HT-A3000

ヘッドホンとのBLUETOOTH接続が切断される

- Chromecast built-inを使っているときは、本機とヘッドホンをBLUETOOTH機能で接続することはできません。

サウンドバー
HT-A3000

本機をネットワークに接続できない、またはネットワーク接続が不安定になる

- 無線LANルーターの電源がオンになっていることを確認してください。
- ネットワークの接続と通信設定を確認してください。
- 使用環境（壁の素材を含む）、電波の状態、本機と無線LANルーター間の障害物などによって、通信距離が短くなることがあります。本機と無線LANルーターを近づけてください。
- 電子レンジ、BLUETOOTH機器、デジタルコードレス機器などの2.4 GHzの周波数帯域を使う機器は、通信に影響を与えることがあります。それらの機器を遠ざけるか、電源を切ってください。
- 特に本機のBLUETOOTH機能を使っているときは無線LAN接続が使用環境により不安定になることがあります。無線LAN使用環境の改善をお試しください。

サウンドバー
HT-A3000

無線LANルーターがワイヤレスネットワークのリストに表示されない

- リモコンのオプションボタンを押して、リストを更新してください。それでも無線LANルーターが検出されないときは、ネットワークリストから[新しい接続先の登録]を選び、ネットワーク名（SSID）を手動で入力します。

サウンドバー
HT-A3000

インターネットにつながらない

- 無線LANの接続を確認してください。
- 無線LANルーターを再起動してください。

サウンドバー
HT-A3000

本機のリモコンが機能しない

- バースピーカーのリモコン受光部に向けて操作してください。
 - リモコンと本機との間の障害物を除いてください。
 - 電池が古い場合は、すべての電池を新しいものに取り換えてください。
 - リモコンの正しいボタンを押しているか確認してください。
-
-

関連項目

- [バースピーカー](#)

サウンドバー
HT-A3000

テレビのリモコンが機能しない



- IRリピーター機能を有効にすることで改善する場合があります。
-

関連項目

- [テレビのリモコンが効かないときは](#)



サウンドバー
HT-A3000

別売スピーカーから音が出ない、または音が小さい

- リモコンのサブウーファー + ボタンを押してサブウーファーの音量を上げてください。またはリモコンのリア音量 + ボタンを押して、リアスピーカーの音量を上げてください。
-  [設定する] → [詳細設定] → [スピーカー設定] → [ワイヤレススピーカー設定] → [ワイヤレススピーカー接続確認] で無線接続状態を確認してください。
- ナイトモードをオフにしてください。
-  [設定する] → [詳細設定] → [スピーカー設定] → [ワイヤレススピーカー設定] → [ワイヤレス周波数設定] を [切] から [入] に切り換えた場合、音声を出力するまでに1分ほどかかることがあります。
- 別売のリアスピーカー/サブウーファーの取扱説明書をご覧ください。

サウンドバー
HT-A3000

音が途切れる、ノイズが出る

- 無線LANや電子レンジなど電磁波を発生する機器がある場合は、その機器から別売スピーカーと本機を離してください。
- 本機と別売スピーカーとの間に障害物がある場合は、障害物を避けるか取り除いてください。
- 本機と別売スピーカーをできるだけ近づけてください。
-  [設定する] → [詳細設定] → [スピーカー設定] → [ワイヤレススピーカー設定] → [ワイヤレス周波数設定] を一度 [切] にしてから [入] に切り換えてください。
- テレビ、ブルーレイディスクレコーダーなどの無線LANを有線LANに切り換えてください。
-  [設定する] → [詳細設定] → [スピーカー設定] → [ワイヤレススピーカー設定] → [ワイヤレス再生品質] を [接続優先] に設定してください。

サウンドバー
HT-A3000

HDMI機器制御機能が正しく働かない

- 本機との接続を確認してください。
- テレビのHDMI機器制御機能を有効にしてください。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- しばらく待ってから操作してください。本機の電源コードを抜き差ししたときは、操作が可能になるまで時間がかかります。15秒以上待ってから操作してください。
- 本機につないだテレビがHDMI機器制御機能に対応していることを確認してください。
- HDMI機器制御機能で制御できる機器の種類と数は、HDMI CEC規格で以下のとおり制限されています。
 - 録画機器（ブルーレイディスクレコーダー、DVDレコーダーなど）：3台まで
 - 再生機器（ブルーレイディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなど）：3台まで（本機がそのうちの1台を使用します）
 - チューナー関連機器：4台まで
 - オーディオシステム（AVアンプ/ヘッドホン）：1台まで（本機が使用します）

関連項目

- [ARC/eARC対応のテレビとつなぐ](#)
- [ARC/eARC非対応のテレビとつなぐ](#)


サウンドバー
HT-A3000

表示窓に5秒間【PRTCT（プロテクト）】と点滅表示され、本機の電源が切れる

- 電源コードを抜き、本機の通風孔がふさがっていないか点検してください。


サウンドバー
HT-A3000

表示窓に [PRTCT (プロテクト)]、[PUSH]、スピーカーの名前 ([SUB]、[RL] または [RR])、[POWER] が順番に点滅表示される

- 表示されているスピーカー ([SUB] : 別売のサブウーファー、[RL] : 別売のリアスピーカー左、[RR] : 別売のリアスピーカー右) の  (電源) ボタンを押して電源を切ってください。別売のリアスピーカーの場合は、電源コードを抜いてから、電源を入れ直してください。別売のサブウーファーの場合は、電源コードを抜いてから、スピーカーの通風孔がふさがっていないか確認したあと、電源を入れ直してください。正しく本機とつながると、バースピーカーの表示窓は通常表示に戻ります。


サウンドバー
HT-A3000

表示窓に [HIGH]、[TEMP]、[ERROR] が順に2秒ずつ点滅表示し、 [STANDBY] が表示され、本機の電源が切れる

-
- 本機内の高温状態を検出しています。  (電源) ボタンを押して本機を再起動してください。

サウンドバー
HT-A3000

表示窓に【BT TX】と表示される

-  【設定する】 → 【詳細設定】 → 【Bluetooth設定】 → 【Bluetoothモード】を【受信】に設定してください。【Bluetoothモード】を【送信】に設定している場合は、表示窓に【BT TX】と表示されます。

サウンドバー
HT-A3000

テレビの各種センサーが正常に動作しない

- バースピーカーの置きかたによっては、バースピーカーがテレビの各種センサー（明るさセンサーなど）や、リモコン受光部、赤外線方式3Dグラス対応の3Dテレビの「3Dグラス用発信部（赤外線通信）」、無線通信をさえぎる可能性があります。その場合は、各種センサーなどが正常に動作する位置までバースピーカーをテレビから離してください。各種センサーやリモコン受光部の位置については、テレビの取扱説明書をご覧ください。


サウンドバー
HT-A3000

無線機能（BLUETOOTH機能、無線LAN、別売のサブウーファー／リアスピーカー）が不安定

-
- 本機の周辺にテレビ以外の金属物を置かないでください。無線機能に影響が出る場合があります。



サウンドバー
HT-A3000

急に知らない音楽が再生された

- 店頭用内蔵音源が再生されている可能性があります。バースピーカーの  (入力切換) ボタンを押すと再生が停止します。

サウンドバー
HT-A3000

電源を切ることができない、または【詳細設定】が使えない／バースピーカーの電源ボタンを押すと表示窓に【.DEMO】と表示され電源を切ることができない

- 本機がデモモードになっている可能性があります。デモモードを解除するには、本機を初期化します。バースピーカーの （電源）ボタンと （音量）ボタンを5秒以上押してください。

サウンドバー
HT-A3000

MUSIC SERVICEボタンを押してもSpotifyの再生ができない、または途中でできなくなった

- モバイル機器のSpotifyアプリ上でSpotify Connect機能を使って、本機でSpotifyの音楽再生を行ってください。

サウンドバー
HT-A3000


本機が再起動する

- 解像度の異なるテレビとつなぐと、映像出力の再設定のために本機が再起動する場合があります。

サウンドバー
HT-A3000

初期化する


「故障かな?と思ったら」で症状が改善されない場合は、本機を初期化してください。

- 1 ホームボタンを押す。
テレビ画面にホームメニューが表示されます。
- 2 ホームメニューで  [設定する] → [詳細設定] を選ぶ。
- 3 [設定初期化] を選ぶ。
- 4 初期化したい項目を選ぶ。
- 5 [実行] を選ぶ。

初期化をキャンセルする

手順5で [中止] を選びます。

ホームメニューで本機を初期化できない場合

ベーススピーカーの  (電源) ボタンと - (音量) ボタンを同時に5秒以上押す。
設定が初期化されます。

ご注意

- 初期化により別売のサブウーファーやリアスピーカーとの接続が切断される場合があります。その場合は、別売のサブウーファーやリアスピーカーの取扱説明書をご覧になり再接続を行ってください。

サウンドバー
HT-A3000

再生できる音声ファイルの種類

フォーマット	拡張子
MP3 (MPEG-1 Audio Layer III)	.mp3
AAC/HE-AAC	.m4a, .aac, .mp4, .3gp
WMA9 Standard	.wma
LPCM	.wav
FLAC	.flac
DSF	.dsf
DSDIFF (*)	.dff
AIFF	.aiff, .aif
ALAC	.m4a
Vorbis	.ogg
Monkey's Audio	.ape

* DSTエンコードされたファイルは再生できません。

ご注意

- ファイルのフォーマットや圧縮状況、録音状態、またはその他の状態によって再生できないことがあります。
- パソコンで記録や編集したファイルは再生できないことがあります。
- ファイルによっては早送り／早戻し再生ができないことがあります。
- デジタル著作権管理 (DRM) などで保護されたファイルは再生できません。
- 名前やメタデータによっては、ファイルやフォルダーを認識できないことがあります。
- USB機器によっては、本機で再生できないことがあります。
- 本機はマスタストレージクラス (MSC) 機器 (フラッシュメモリーなど) を認識します。

サウンドバー
HT-A3000

入力できる音声フォーマット

入力できる音声フォーマットは、本機がどの入力に設定されているかによって異なります。次の表で「○」の場合はその音声フォーマットに対応しています。「-」の場合はその音声フォーマットは非対応です。

フォーマット	TV入力 (eARC)	TV入力 (ARC)	TV入力 (OPT)
LPCM 2ch	○	○	○
LPCM 5.1ch	○	-	-
LPCM 7.1ch	○	-	-
Dolby Digital	○	○	○
Dolby TrueHD	○	-	-
Dolby Digital Plus	○	○	-
Dolby Atmos	○	-	-
Dolby Atmos - Dolby TrueHD	○	-	-
Dolby Atmos - Dolby Digital Plus	○	○	-
DTS	○	○	○
DTS-ES Discrete 6.1、DTS-ES Matrix 6.1	○	○	○
DTS 96/24	○	○	○
DTS-HD High Resolution Audio	○	-	-
DTS-HD Master Audio	○	-	-
DTS:X	○	-	-
MPEG-2 AAC	○	○	○
MPEG-4 AAC	○	○	○

サウンドバー
HT-A3000

BLUETOOTH®無線技術について

BLUETOOTH無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ10 m程度までの距離で通信を行うことができます。必要に応じて2つの機器をつなげて使うのが一般的な使いかたですが、1つの機器に同時に複数の機器をつなげて使うこともあります。

無線技術によってUSBのように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。

BLUETOOTH標準規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品で採用されています。

BLUETOOTH機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したものです。本機は下記のBLUETOOTHバージョンとプロファイルに対応しています。

対応BLUETOOTHバージョン：

- BLUETOOTH標準規格Ver. 5.0

対応BLUETOOTHプロファイル：

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) : 高音質な音楽コンテンツを送受信する。
- AVRCP (Audio Video Remote Control Profile) : 再生、一時停止、停止など、AV機器を操作する。

ご注意

- BLUETOOTH機能を使うには、相手側BLUETOOTH機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、BLUETOOTH機器の仕様により機能が異なる場合があります。
- BLUETOOTH無線技術の特性により、送信側での音声／音楽再生に比べて、本機側での再生がわずかに遅れます。

通信有効範囲

見通し距離で約30 m以内で使用してください。

以下の状況においては、通信有効範囲が短くなることがあります。

- BLUETOOTH接続している機器の間に、人体や金属、壁などの障害物がある場合
- 無線LANが構築されている場所
- 電子レンジを使用中の周辺
- その他の電磁波が発生している場所

他機器からの影響

BLUETOOTH機器と無線LAN (IEEE802.11b/g/n) は同一周波数帯 (2.4 GHz) を使用するため、無線LANを搭載した他の機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本機とBLUETOOTH機器を接続するときは、他の無線LAN搭載機器から10 m以上離れたところで行う。
- 10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

他機器への影響

BLUETOOTH機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBLUETOOTH機器の電源を切ってください。

- 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

- 自動ドアや火災報知機の近く

ご注意

- 本機は、BLUETOOTH無線技術を使用した通信時のセキュリティーとして、BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティー機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティーが充分でない場合があります。BLUETOOTH無線通信を行う際はご注意ください。
- BLUETOOTH技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機と接続するBLUETOOTH機器は、Bluetooth SIGの定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、BLUETOOTH標準規格に適合していても、BLUETOOTH機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 本機と接続するBLUETOOTH機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。

電波法に基づく認証について

本機に内蔵された無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機に内蔵の無線装置を分解／改造すること
- 本機に内蔵の無線装置に貼ってある証明ラベルをはがすこと

サウンドバー
HT-A3000

商標とライセンスについて

本機はドルビーデジタル(*)、MPEG-2 AAC(LC)デコーダー、およびDTS(**)デコーダーを搭載しています。

* Dolby, ドルビー, Dolby Atmos及びダブルD記号はDolby Laboratories Licensing Corporationの登録商標です。ドルビーラボラトリーズの実施権に基づき製造されています。非公開機密著作物。著作権 2012-2022 年 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

** DTSの特許については、<http://patents.dts.com>をご覧ください。

本製品はDTS社からの実施権に基づき製造されています。DTS、DTS:X、およびDTS:Xロゴは、米国および他の国々で登録されたDTS社の登録商標または商標です。© 2022 DTS, Inc. 著作権所有

BLUETOOTH®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

HDMI®, High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

Google、Google Play、Google Home、Chromecast built-in、およびその他の関連するマークやロゴは、Google LLCの商標です。

Apple、AirPlay、iPad、iPhone、iPod touchおよびSiriは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。

「Works with Apple」バッジは、アクセサリが本バッジに記載されたテクノロジー専用に対応し、アップルが定める性能基準を満たしていることを示します。

“ブラビアリンク”および“BRAVIA Link”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。

ウォークマン®, WALKMAN®, WALKMAN®ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。

“PlayStation”は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標または商標です。

本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。

Windows Mediaは米国および/またはその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。本製品にはMicrosoftの知的財産権の対象である技術が含まれています。Microsoftから使用許諾を得ることなく、この技術を本製品以外で使用または頒布することは禁じられています。

Wi-Fi®, Wi-Fi Protected Access®およびWi-Fi Alliance®は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

Wi-Fi CERTIFIED™、WPA™、および、WPA2™は、Wi-Fi Allianceの商標です。


LDAC™およびLDACロゴは、ソニー株式会社の商標です。

LDACは、ソニーが開発したハイレゾ音源をBluetooth経由でも伝送可能とする音声圧縮技術です。SBC等の既存Bluetooth向け圧縮技術とは異なり、ハイレゾ音源を低い周波数・低いビット数へダウンコンバートすることなく処理します(*)。また極めて効率的な符号化やパケット配分の最適化を施すことで、従来技術比約3倍(**)のデータ量の送信を可能とし、これまでにない高音質のBluetooth無線伝送を実現しています。

* DSDフォーマットは除く。

** 990kbps (96/48kHz) または909kbps (88.2/44.1kHz) のビットレートを選択した場合のSBC (Subband Coding) との比較。

本機には、GNU General Public License (“GPL”) またはGNU Lesser General Public License (“LGPL”) の適用を受けるソフトウェアが含まれております。このため、お客様にはGPL/LGPLの条件に従って、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

GPLまたはLGPL、その他、本機に含まれるソフトウェアのライセンスについて詳しくは、本機の  [設定する] → [詳細設定] → [本体設定] → [ソフトウェアライセンス] をご覧ください。

GPL/LGPL 等に基づき、ソニーがソースコードを提供すべきソフトウェアのソースコードは以下のサイトからダウンロードできます。

DVD-ROM等の有体媒体に記録されたソースコードをご希望の方は、同じく以下のサイトのフォームからお申込み下さい。ソースコードの提供は本製品の最終出荷日から3年以内にご要望を頂いた場合に限らせて頂きます。

<https://oss.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせは御遠慮ください。

“DSEE Extreme”はソニー株式会社の登録商標です。

“TRILUMINOS”および“TRILUMINOS”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。

Spotifyのソフトウェアには下記のサードパーティライセンスが適用されます。

<https://www.spotify.com/connect/third-party-licenses>。

SpotifyおよびSpotifyロゴはSpotifyグループの商標です。

Amazon、Alexa及び関連するすべてのロゴはAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。